

鹿児島大学医学部保健学科業績目録（2013年1月～12月）

| | |
|-----|---|
| 雑誌名 | 鹿児島大学医学部保健学科紀要=Bulletin of the School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Kagoshima University |
| 巻号 | 24 |
| ページ | 1 |
| URL | 1-21 |
| URL | http://hdl.handle.net/10232/23878 |

鹿児島大学医学部保健学科

業 績 目 録

(2013年1月～12月)

業績目録

[看護学専攻]

[総合基礎看護学講座]

A. 著書

1. 小西恵美子：放射線の安全管理. in:がん放射線療法ケアガイド新訂版, 63-68, 中山書店, 東京, 2013.

B. 論文

1. Chijiwa T, So S, Hattori S, Yoshida A, Oda-Ueda N, Ohno M : Suppression of Severe lesions, Myonecrosis and Hemorrhage, Caused by Protobothrops flavoviridis Venom with its Serum Protein. *Toxicon* 2013; 76: 197-205.
2. Yuko Matsunari, Nao Yoshimoto : Comparison of rescue and relief activities within 72 hours of the atomic bombings in Hiroshima and Nagasaki, *Prehospital and Disaster Medicine* 2013; 28. 6: 546-542.
3. 野戸結花, 富澤登志子, 井瀧千恵子, 西沢義子, 一戸とも子, 工藤せい子, 木立るり子, 北島麻衣子, 山辺秀彰, 浦田秀子, 松成裕子 : がん放射線療法看護認定看護師の活動に関する現状と課題. *日本放射線看護学会誌*. 2013. 1(1). 22-29
4. 小西恵美子. 倫理は形ではない: 枠組みに囚われない倫理的思考のすすめ. *看護展望*. 2013.5.4-13.
5. 小西恵美子, 麻原きよみ, 小野若菜子, 倉岡有美子, 田代真理. ケーススタディー: 倫理的意思決定の枠組みを使わないアプローチと対話. *日本看護倫理学会*. 2013.5. 28-33.

C. 学会発表

1. Emiko Konishi. : Nurses' responsibilities in radiation emergency. The International Center for Nursing Ethics, 14th Annual Conference, Deakin University, Melbourne, May 18, 2013.
2. 豊田智子, 八代利香 : 退院調整・支援看護師の倫理的役割に関する研究の動向. *日本看護倫理学会第6回年次大会*, 鹿児島市, 2013.6.8-9.
3. 松川京子, 土橋由美子, 松成裕子 : 地域・公衆衛生領域における放射線看護: 国内文献検討. 第2回日本放射線看護学会学術集会, 長崎, 2013.9.14.
4. 麻原きよみ, 菊地透, 大森純子, 小西恵美子, 荒木田美香子, 小野若菜子, 小林真朝, 三森寧子, 松成裕子, 川崎千恵 : 放射線防護文化の創造 - いわき市における保健師を対象とした教育プログラムの実施 -. 第2回日本放射線看護学会学術集会, 長崎, 2013.9.14.
5. 大森純子, 小西恵美子, 麻原きよみ, 荒木田美香子, 三森寧子, 松成裕子, 菊地透, 小林真朝, 小野若菜子, 川崎千恵 : チェリノブイリ原発事故からの学び - ベラルーシにおける四半世紀の実践と今後の課題 -. 第2回日本放射線看護学会学術集会, 長崎, 2013.9.14.
6. 麻原きよみ, 菊地透, 大森純子, 小西恵美子, 荒木田美香子, 小野若菜子, 小林真朝, 三森寧子, 松成裕子, 川崎千恵 : 放射線防護文化の創造 - いわき市における保健師が抱える住民対応の困難感と葛藤 -. 第72回日本公衆衛生学会総会, 三重, 2013.10.24.
7. 大森純子, 小西恵美子, 麻原きよみ, 荒木田美香子, 三森寧子, 松成裕子, 菊地透, 小林真朝, 小野若菜子, 川崎千恵 : チェリノブイリ原発事故からの学び - ベラルーシの放射線防護に関する専門職教育 -. 第72回日本公衆衛生学会総会, 三重, 2013.10.24.
8. 丸山育子, 松成裕子, 中山洋子, 工藤真由美, 石井邦子, 石原昌, 大平光子, 大見サキエ, 黒田るみ, 小松万喜子, 田村正枝, 土居洋子, 戸田肇, 永山くに子, 東サトエ : 看護系大学卒業の看護師の看護実践能力を測定する「看護実践能力自己評価尺度 (CNCSS)」の有用性の検討. *日本看護科学学会第33回年次大会*, 大阪, 2013.12.7.
9. Chie Kawasaki, Kiyomi Asahara, Junko Omori, Emiko Konishi, Mikako Arakida, Wakanako Ono, Makiko Orita, Toru Kikuchi, Maasa Kobayashi, Yuko Matsunari, Yasuko Mitsumori : Experiences of Public Health Nurses (PHNs) in Fukushima: Struggles with People in their Community. *The Global Congress for Qualitative Health Research, Khon Kaen, Thailand, 2013. December 4*

業績目録

D. その他

1) 論文・報告書

1. 太田勝正, 小西恵美子, 松成裕子: 倫理という視点から議論された福島第一原子力発電所事故. 日本看護倫理学会誌, 2013. 22(1): 1-6.
2. 麻原きよみ, 小西恵美子, 菊地透, 荒木田美香子, 松成裕子, 大森純子, 小林真朝, 小野若菜子, 三森寧子: 平成24年度環境省原子力災害影響調査等事業 放射線の健康影響に係る研究調査 保健師による実際的な放射線防護文化のモデル開発・普及と検証: 放射線防護専門家との協働によるアクションリサーチ, 報告書, 2013. 3
3. News from Japan, News on International Conference proceedings from around the globe, Nursing Ethics, No. 20, Vol. 8, p 957, 2013.
4. 小西恵美子: 看護倫理の視点で議論された日本の原子力災害, 第14回国際看護倫理センター年次大会に参加して, 医学界新聞 第3044号, 2013.
5. 小西恵美子(研究代表者): 災害時下の看護職に対する放射線教育のアクションリサーチ, ファイザーヘルスリサーチ振興財団国内共同研究平成23-24年度成果報告書, 2013.

2) 講演

1. 中俣直美: 鹿児島県臨床指導者研修会 講義「実習指導の原理 , 」, 鹿児島県看護協会, 2013. 1.9, 1.15, 1.23
2. 中俣直美, 濱田恭子: 看護研究の進め方・まとめ方 (グループ指導) 全11回, 鹿児島市医師会病院看護部研修, 鹿児島市, 2013.1.22 ~ 11.26
3. 中俣直美: 喀痰吸引・経管栄養の実習, 家族以外の介護者のための喀痰吸引等講習会, 全6回, 日本ALS協会鹿児島県支部, 鹿児島市, 2013.2.3, 6.30, 8.31, 9.29, 10.27, 12.22
4. 八代利香: 公益財団法人慈愛会第23回キャリアアップセミナー, 看護倫理について~看護実践の中で出現する倫理的意思決定支援~, 鹿児島市, 2013.2.14.
5. 八代利香: 日本看護倫理学会第6回年次大会 会長講演, チーム医療における看護の果たすべき役割と倫理, 2013.6.8-9.
6. 中俣直美: 喀痰吸引概説, 健康状態の把握, 経管栄養概説, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 全3回, 日本ALS協会鹿児島県支部, 2013.6.22, 6.23, 9.21, 9.22, 12.14, 12.15
7. 山口さおり: 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 全2回, 日本ALS協会鹿児島県支部, 2013.6.23, 12.15.
8. 中俣直美, 山口さおり, 吉本なを, 持留里奈: 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 日本ALS協会鹿児島県支部, 2013.6.23
9. 中俣直美: 講義「医学の基礎知識」, 平成25年度福祉用具専門相談員養成研修, 社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会主催, 鹿児島市, 2013.6.29
10. 八代利香: 研究計画書の書き方と研究における倫理. 看護研究の基礎及びデータ解析入門, 平成25年度鹿児島大学医学部保健学科公開講座, 鹿児島市, 2013.7.20.
11. 松成裕子: 調査研究の方法. 看護研究の基礎及びデータ解析入門, 平成25年度鹿児島大学医学部保健学科公開講座, 鹿児島市, 2013.7.20.
12. 中俣直美: 看護研究(統計), 鹿児島市医師会病院看護部研修, 鹿児島市, 2013.7.30
13. 小西恵美子: 看護の本質: 看護倫理の視点から. 高知県看護教員継続研修事業講演, 2013.8.13.
14. 小西恵美子: 看護倫理: 倫理的ジレンマへの対応, 山形県看護協会研修会, 2013.9.2, 9. 5.
15. 八代利香: 公益社団法人鹿児島県看護協会 平成25年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程「看護実践における倫理」, 鹿児島市, 2013.8.28, 9.3.
16. Rika Yatsushiro: Kagoshima University Student Exchange Program: 2013 Academic Conference on Nursing Education and Cultural Diversity, Red Cross College of Nursing, Chung-Ang University, Nursing Education in Japan, Seoul, Korea, 2013. 9. 5. (In English)
17. 中俣直美: 「口腔内・気管内吸引」講義・演習, 家族以外の介護者の吸引講習会, 日本ALS協会鹿児島県支部主催, 奄美市, 2013.9.1
18. 中俣直美, 持留里奈, 山口さおり, 吉本なを, 有川理恵, 才田隆一, 田中久美子, 西本大策, 山下奈々恵, 吉元美由紀: 在宅人工呼吸器装着患者のケアに必要な看護技術, 公開講座「在宅ALS (筋萎縮性側索硬化症) 療養者の支援」, 鹿児島市, 2013.9.14
19. 中俣直美, 持留里奈, 山口さおり, 吉本なを: 在宅人工呼吸器装着患者のケアに必要な技術, 鹿児島大学医学部保健学科公

業績目録

開講座「在宅ALS療養者の支援」，鹿児島市，2013.9.14

20. 中俣直美：ALS療養者の現況，公開講座「在宅ALS（筋萎縮性側索硬化症）療養者の支援」鹿児島市，2013.9.14
21. 八代利香：鹿児島市立病院 平成25年度看護科全体研修「看護倫理」，鹿児島市，2013. 10. 24.
22. 中俣直美：看護研究の基礎，鹿児島市医師会病院看護部研修，鹿児島市，2013.10.29
23. Rika Yatsushiro: JICA地域別研修コース「アジア・大洋州島嶼地域 問題解決型の保健専門職人材育成」講義，A Transition of Health Care System and Nursing Education in Japan，鹿児島市，2013.10.30. (In English)
24. 八代利香：公益財団法人慈愛会今村病院職員研修「専門職としての倫理」，鹿児島市，2013.10.31.
25. 八代利香：恒心会おくら病院職員研修「専門職としての倫理」，鹿児島市，2013.11.28.
26. 八代利香：看護論 . 鹿児島県看護協会 平成25年度実習指導者講習会，鹿児島市，2013.12.20.

3) 学会活動

1. 持留里奈，山口さおり，吉本なを：日本看護倫理学会第6回年次大会 企画委員，平成25年6月8日・9日
(委嘱期間：平成24年3月1日～平成25年6月9日)

〔臨床看護学講座〕

A. 著書

1. 清水佐智子，リスクマネジメントに役立つ看護記録の書き方・生かし方，看護主任業務，2013;22:26-31
2. 西光代，宇都宮與，堤由美子，造血器腫瘍患者の初期治療期における主観的体験と自己決定の質的分析，日本看護科学会誌，2013;33:53-62
3. 日隈利香，岩下邦子，田中ミドリ，川口久美，赤崎えり子，鹿児島県内の医療保健福祉施設に勤務する看護職の労働環境に関する研究，第44回日本看護学会論文集 看護管理，2014（投稿受理）
4. 新地洋之，高尾尊身，夏越祥次：膵胃吻合術 膵貫通密着吻合法 . 術中写真で見る胆・膵の外科手術，メディカルビュー社，2013;110-119
5. 橋口真征，上野真一，迫田雅彦，飯野聡，南幸次，又木雄弘，前村公成，新地洋之，平木翼，夏越祥次，肝原発mucosa-associated lymphoid tissueリンパ腫の1切除例，日本消化器外科学会雑誌，2013;46:50-57
6. 上野真一，安藤慶，迫田雅彦，飯野聡，南幸次，橋口真征，又木雄弘，前村公成，新地洋之，夏越祥次，肝胆膵MCNの1例：WHO分類第4版に基づいて，胆と膵，2013;34:397-401
7. 蔵原弘，新地洋之，前村公成，又木雄弘，高尾尊身，夏越祥次，進行膵癌，胆道癌に対する抗癌剤感受性試験を用いた個別化治療，胆と膵，2013;34:149-153
8. 前村公成，新地洋之，又木雄弘，盛真一郎，高尾尊身，夏越祥次，ドップラー血流計による術中血管同定法併用腹腔鏡下胆嚢摘出術，日本臨床外科学会雑誌，2013;74:2064-2071
9. 高尾尊身，又木雄弘，前村公成，新地洋之，夏越祥次，膵胃吻合，消化器外科，2013;36:1479-1487
10. Yuasa T, Takasaki K, Mizukami N, Ueya N, Kubota K, Horizoe Y, Chaen H, Kuwahara E, Kisanuki A, Hamasaki S., Prosthetic tricuspid valve dysfunction assessed by three-dimensional transthoracic and transesophageal echocardiography., J Echocardiogr, 2013;11:7-99
11. Satoi S, Yamaue H, Kato K, Takahashi S, Hirono S, Takeda S, Eguchi H, Sho M, Wada K, Shinchi H, Kwon AH, Hirano S, Kinoshita T, Nakao A, Nagano H, Nakajima Y, Sano K, Miyazaki M, Takada T: Role of adjuvant surgery for patients with initially unresectable pancreatic cancer with a long-term favorable response to non-surgical anti-cancer treatments: results of a project study for pancreatic surgery by the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery. J Hepatobiliary Pancreat Sci, 2013;20:590-600
12. Motoi F, Unno M, Takahashi H, Okada T, Wada K, Sho M, Nagano H, Matsumoto I, Satoi S, Murakami Y, Kishiwada M, Honda G, Kinoshita H, Baba H, Hishinuma S, Kitago M, Tajima H, Shinchi H, Takamori H, Kosuge T, Yamaue H, Takada T: Influence of pre-operative anti-cancer therapy on resectability and perioperative outcomes in patients with pancreatic cancer: Project study by the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery. J Hepatobiliary Pancreat Sci, 2013 Aug 1. [Epub ahead of print].
13. Matsuo Y, Ding Q, Desaki R, Maemura K, Mataka Y, Shinchi H, Natsugoe S, Takao S: Hypoxia inducible factor-1 alpha plays a pivotal role in hepatic metastasis of pancreatic cancer: an immunohistochemical study. J Hepatobiliary Pancreat Sci, 2013 Jun 20. [Epub ahead of print].

業績目録

14. Sakoda M, Ueno S, Iino S, Minami K, Ando K, Kawasaki Y, Kurahara H, Mataka Y, Maemura K, Shinchi H, Natsugoe S. Endoscopic versus Open Radiofrequency Ablation for Treatment of Small Hepatocellular Carcinoma. World J Surg. 2013 ;37:597-601
15. Sakoda M, Ueno S, Iino S, Minami K, Ando K, Kawasaki Y, Kurahara H, Mataka Y, Maemura K, Shinchi H, Natsugoe S. Pure laparoscopic subsegmentectomy of the liver using a puncture method for the target portal branch under percutaneous ultrasound with artificial ascites. Surg Laparosc Endosc Percutan Tech, 2013;23:45-48
16. Sakita H, Okumura H, Ishigami S, Matsumoto M, Uchikado Y, Setoyama T, Arigami T, Uenosono Y, Kijima Y, Owaki T, Shinchi H, Ueno S, Natsugoe S. Metachronous esophageal squamous cell cancer after gastrectomy for gastric cancer. Esophagus, 2013;10:129-134

B. 論文

C. 学会発表

1. 清水佐智子, 看護学生が緩和ケアの講義でつくづく悲しくなったテーマとそこから得たもの-アンケートの結果から, 第27回日本がん看護学会学術集会, 2013年2月(金沢)
2. 坂井さゆり, 澤井美穂, 清水佐智子, 認定看護師向け効果の高い看護学生への緩和ケア教育法, 第27回日本がん看護学会学術集会, 2013年2月(金沢)
3. 中島夕美子, 朝比奈完, 池永恵子, 岡野隆一, 河村朋子, 小山吉美, 斉藤直裕, 平野和恵, 宮下勉, 吉田久美子, 渡部裕美, 清水佐智子, ICT活用による情報共有の有用性と問題点~医師以外の在宅ケアスタッフの立場から, 第24回在宅医療学会学術集会, 2013年3月(大阪)
4. 平野和恵, 千葉恵子, 檜柑富貴子, 清水佐智子, 緩和ケア認定看護師のがん専門訪問看護料活用状況と課題, 第18回日本緩和医療学会学術集会, 2013年6月(横浜)
5. 木佐貫彰, パネルディスカッション「心エコーにおける生涯教育の現状と展望, 鹿児島における研修医・技師に対する心エコー教育の取り組み, 日本超音波医学会第86回学術集会, 2013年5月(大阪)
6. 堀添善尚, 高崎州亜, 植屋奈美, 茶園秀人, 窪田佳代子, 水上尚子, 湯淺敏典, 木佐貫彰, 濱崎秀一, 大石充, 正常駆出率の低圧較差重症大動脈弁狭窄症では脈波伝搬速度による動脈硬化度が高い, 第61回日本心臓病学会学術集会, 2013年9月(熊本)
7. 茶園秀人, 湯淺敏典, 堀添善尚, 植屋奈美, 川添晋, 窪田佳代子, 水上尚子, 高崎州亜, 木佐貫彰, 大石充, 成人期まで外科的介入なく経過したShone症候群の一例, 第23回日本超音波医学会九州地方会, 2013年10月(熊本)
8. 植屋奈美, 湯淺敏典, 堀添善尚, 茶園秀人, 窪田佳代子, 高崎州亜, 水上尚子, 木佐貫彰, 大石充, 肺高血圧症における拡張期strain rateと血清BNP値との関連2D speckle trackingを用いた検討, 第11回先進心血管エコー研究会, 2013年8月(大阪)
9. 濱田恭子, 堤由美子:精神看護学実習において学生が着目する対象の対応努力, 日本看護学教育学会, 2013年8月(仙台)
10. 野中弘美, 堤由美子, 術後3年が経過した乳がん患者の療養体験プロセスの質的分析, 第33回日本看護科学学会, 2013年12月(大阪)
11. 角マリ子, 堤由美子, 第33回日本看護科学学会学術集会, 2013年12月(大阪)
12. 神野有加, 堤由美子, 一般病棟で終末期患者に関わる看護者の感情体験の分析, 第33回日本看護科学学会, 2013年12月(大阪)
13. 武亜希子, 堤由美子, オストメイトのストーマ保有に対する意味探求のプロセスの質的分析, 第33回日本看護科学学会, 2013年12月(大阪)
14. 大山もと子, 堤由美子, 3年課程看護学生の看護に対する態度の変化プロセスの質的分析 - 縦断的調査を通して, 第33回日本看護科学学会, 2013年12月(大阪)
15. 平野和恵, 檜柑富貴子, 高砂裕子, 心肺停止状態から回復した高齢者と家族の在宅療養を支える訪問看護の役割 家族(介護者)としての経験を通して 第3回日本在宅看護学会学術集会, 2013年11月(東京)
16. 日隈利香, 日隈正守, 看護職員間ハラスメントの実態と被害者への影響に関する研究, 第44回日本看護学会 看護総合, 2013年9月(別府)
17. 日隈利香, 岩下邦子, 田中ミドリ, 川口久美, 赤崎えり子, 鹿児島県内の医療保健福祉施設に勤務する看護職の労働環境に関する研究, 第44回日本看護学会 看護管理, 2013年9月(大阪)
18. 新地洋之, 高尾尊身, 前村公成, 又木雄弘, 蔵原弘, 迫田雅彦, 上野真一, 平木嘉幸, 夏越祥次:局所進行切除不能膀胱癌に対するTS-1併用化学放射線療法第2相臨床試験の長期成績. 第99回日本消化器病学会総会, 2013年3月(鹿児島)
19. 新地洋之, 高尾尊身, 前村公成, 又木雄弘, 蔵原弘, 桑畑太作, 川崎洋太, 南幸次, 飯野聡, 迫田雅彦, 上野真一, 夏越祥

業績目録

- 次：膵液量の少ない膵消化管吻合 ハーモニックによる膵切離と膵胃密着吻合法 . 第113回日本外科学会定期学術集会, 2013年4月(福岡)
20. 新地洋之, 前村公成, 又木雄弘, 蔵原弘, 川崎洋太, 安藤慶, 南幸次, 飯野聡, 迫田雅彦, 上野真一, 高尾尊身, 夏越祥次: Borderline resectable膵癌の成績と予後向上へ向けた新たな治療戦略. 第25回日本肝胆膵外科学会, 2013年6月(宇都宮)
 21. 新地洋之, 前村公成, 又木雄弘, 蔵原弘, 桑畑太作, 飯野聡, 迫田雅彦, 上野真一, 高尾尊身, 夏越祥次: 切除可能およびBorderline resectable膵癌の相違と予後向上へ向けた術前治療戦略. 第68回日本消化器外科学会総会, 2013年7月(宮崎)
 22. 新地洋之, 前村公成, 又木雄弘, 蔵原弘, 川崎洋太, 出先亮介, 高尾尊身, 夏越祥次: 切除可能および境界膵癌の特徴と術前補助療法の意義. 第44回日本膵臓学会大会, 2013年7月(仙台)
 23. 新地洋之, 高尾尊身, 前村公成, 又木雄弘, 蔵原弘, 飯野聡, 迫田雅彦, 上野真一, 夏越祥次: 局所進行切除不能膵癌に対するTS-1併用化学放射線療法第2・3相臨床試験. 第11回日本消化器外科学会大会 (JDDW 2013), 2013年10月(東京)
 24. 新地洋之, 前村公成, 又木雄弘, 蔵原弘, 飯野聡, 迫田雅彦, 上野真一, 高尾尊身, 夏越祥次: 局所進行膵癌に対するTS-1併用化学放射線療法の治療成績 第2・3相臨床試験 . 第51回日本癌治療学会, 2013年10月(京都)
 25. 新地洋之: 膵癌に対する個別化治療を目指した取り組みについて. NPO法人東北外科臨床研究推進機構NEXTSURG Conference 2013, 2013年1月(仙台)
 26. 新地洋之: 膵癌治療の最前線. 如月会, 2013年2月(都城)
 27. 新地洋之: 膵癌に対する新たな臨床試験. 第2回鹿児島膵勉強会, 2013年3月(鹿児島)
 28. 新地洋之: 膵がん治療の最前線. 第153回南薩胃腸疾患検討会, 2013年3月(枕崎)
 29. 新地洋之: 膵癌治療における臨床試験の有用性. 第3回鹿児島パングレアセミナー, 2013年4月(鹿児島)
 30. Ueya N, Yuasa T, Horizoe Y, Chaen H, Kubota K, Takasaki K, Mizukami N, Kisanuki A, Ohishi M., Right Ventricular Early Diastolic Strain Rate is Associated with Plasma Brain Natriuretic Peptide levels in Patients with Pulmonary Hypertension: Assessment by Two-Dimensional Speckle Tracking Imaging., American Heart Association Scientific Sessions, 2013年11月(Dallas, USA).
 31. Yoshihisa Horizoe, Kunitsugu Takasaki, Nami Ueya, Kayoko Kubota, Eiji Kuwahara, Toshinori Yuasa, Naoko Mizukami, Akira Kisanuki, Shuichi Hamasaki, Pulse Pressure Correlates with Left Atrial Size in Patients with Paroxysmal Atrial Fibrillation., The 77th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2013年3月(横浜).
 32. Shinchi H, Takao S, Maemura K, Mataka Y, Kurahara H, Ueno S, Sakoda M, Natsugoe S: A randomized phase III trial of oral S-1 with concurrent radiotherapy vs. S-1 alone for locally unresectable pancreatic cancer. AACR, 2013年4月(Washington DC, USA)
 33. Shinchi H, Yatsushiro R: Issues and Strategies of the Gap between Nursing Education and Practice in Japan. The Annual International Nursing Conference on Global Network and Leadership, Chung-Ang University, 2013年3月12月(Seoul, Korea)

[地域看護・看護情報学講座]

B. 論文

1. 下吹越直子, 波多野浩道: 看護職ケアマネジャーがとらえた訪問看護導入を判断する要因. 日本看護福祉学会誌 18巻(2): 205-217, 2013.3

C. 学会発表

1. 兒玉慎平: 地方中規模病院における看護師の安全文化の検討. 第3回日本看護評価学会学術集会, 東京都, 2013.2.27.
2. 森隆子, 兒玉慎平, 波多野浩道: A島B町におけるSocial Capitalと健康状態との関連 第3報 . 日本島嶼学会2013年次高知・柏島大会, 高知, 2013.9.8

D. その他

講演

1. 財部マチ子: 地域で生活する患者を支える感が活動をめざして. 平成25年第2回鹿児島大学看護部キャリアパス地域看護コース公開講座, 鹿児島, 2013.7.20.
2. 森隆子: 保健師活動の可能性を探る. 鹿児島大学医学部保健師同窓会しおさい会, 鹿児島市, 2013.8.3.
3. 兒玉慎平: 情報テクノロジー(情報検索). 鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度ファーストレベル講習, 鹿児島市,

業績目録

2013.8.21.

4. 財部マチ子：私たちが創る，私の・そして地域の未来．西部保健センター西部かがやき健康祭，鹿児島市，2013.10.4.
5. 財部マチ子：地域で生き生きと輝いているあなたへ．北部保健センター第6回北部ふれあい健康まつり実行委員会講演会，鹿児島市，2013.10.7.
6. 財部マチ子：楽しくめざそう健康長寿．広木公区成人学級，鹿児島市，2013.10.22.
7. 財部マチ子：楽しくめざそう健康長寿．鹿児島県宅地建物取引業協会女性従事者研修会，鹿児島市，2013.11.14.
8. 財部マチ子：元気で魔法～私たちが創る 自分の未来・みんなの未来．NPO法人地域サポートよしのねぎぼうず よしのっち マミークラブ楽々第4回育児講演会，鹿児島市，2013.11.18.
9. 財部マチ子：元気で魔法～心と身体の健康～，鹿児島県特別支援学校養護教諭研修会，鹿児島市，2013.12.19.
10. 兒玉慎平：情報テクノロジー（情報検索）．鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度ファーストレベル講習，鹿児島市，2013.8.21

（学会座長）

1. 兒玉慎平：第3回日本看護評価学会学術集会．一般演題（口演） 第一群 看護の質，東京都，2013.2.27.

〔母性・小児看護学講座〕

A. 著 書

1. 下敷領須美子：B ハイリスク・異常妊婦への支援 1 支援の基本，助産学講座6 助産診断・技術学 [1] 妊娠期，第5版，医学書院，p301-306，2013.2
2. 武井修治．若年性特発性関節炎における生物学的製剤の使い方．関節リウマチ治療実践バイブル；編集：竹内 勤．南江堂，東京，p188，2013.5
3. 吉留厚子．妊娠に伴う身体的適応からの逸脱172-208（全1172p）．「今日の助産」改訂第3版（分担），南江堂，東京，2013.10

B. 論 文

1. 武井修治．若年性特発性関節炎におけるDMARDsの使い方．クリニシアン60(2)：204-211，2013.2
2. 若松美貴代，武井修治．乳幼児の長時間視聴に関連した要因の探求-育児環境と母親の意識に焦点を当てて．小児保健研究72(2)：261-266，2013.3
3. 吉留厚子，井上尚美．ニュージーランドの助産師システムの紹介．鹿児島大学医学部保健学科紀要 23(1)：15-18，2013.3
4. 武井修治．若年性特発性関節炎．小児科54(5)：571-575，2013.4
5. 黒江奈央，吉留厚子．鹿児島県の産科医療機関の現状と種子島への助産師派遣 - 2病院の取り組み - ．日本農村医学会雑誌61(4)：618-624，2013.4
6. Yokota S, Imagawa T, Mori M, Miyamae T, Takei S, Iwata N, Umebayashi H, Murata T, Miyoshi M, Tomiita M, Nishimoto N, Kishimoto T. Long-term treatment of systemic juvenile idiopathic arthritis with tocilizumab: results of an open-label extension study in Japan. Ann Rheum Dis 72(4): 627-628, 2013.4
7. 武井修治．若年性皮膚筋炎の特徴とその診断と治療．リウマチ科49(4)：410-419，2013.4
8. 武井修治．小児SLEの診断と治療．小児科臨床66(5)：859-864，2013.5
9. 武井修治．リウマチ熱．今日の臨床サポート(オンライン)．エルセヴィアジャパン 東京 2013.5
10. 清水正樹，中岸 保，笠井和子，山崎雄一，三好麻里，武井修治，谷内江昭宏．Tocilizumab治療中の全身型若年性特発性関節炎に合併したマクロファージ活性化症候群におけるサイトカインプロファイルの有用性．小児リウマチ3(2):58-62，2013.6.
11. 武井修治．若年発症サルコイドーシス/Blau症候群．アレルギー・免疫30(10)：1438-1446，2013.9
12. Koike T, Harigai M, Ishigur N, Inokuma S, Takei S, Takeuchi T. Safety and effectiveness of adalimumab in Japanese rheumatoid arthritis patients: postmarketing surveillance report of 7,740 patients. Mod Rheumatol EarlyOnline 1-9, 2013.11.
13. 田淵康子¹⁾，草間朋子²⁾，伴信彦²⁾，吉留厚子³⁾（¹⁾佐賀大学医学部保健学科，²⁾東京医療保険大学東が丘看護学部，³⁾鹿児島

業績目録

島大学医学部保健学科). 子宮内膜症患者の月経に伴う自覚症状の特徴と診断・治療の実態. インターネットジャーナル看護科学研究11(2), : 34-41, 2013.12

C. 学会発表

1. 武井修治, 久保田知洋, 山遠 剛. 自己炎症疾患と自己免疫疾患の連続性に関する臨床研究 - 早期発症および家族歴のある小児SLEの臨床病態特性 . 自己炎症性疾患とその類縁疾患に対する新規診療基盤の確立班, 班会議, 東京, 2013.2.1
2. 江口 郁, 山遠 剛, 久保田知洋, 丸山慎介, 西川拓朗, 井之上寿美, 和田昭宏, 野村裕一, 武井修治, 河野嘉文. 川崎病の診断をみたした若年性特発性関節炎の1例 -インターロイキン18値測定の有用性-. 第152回日本小児科学会鹿児島地方会 鹿児島 2013.02.03
3. 野中由希子, 久保田知洋, 山崎雄一, 赤池治美, 山遠 剛, 嶽崎智子, 大迫由紀, 根路銘安仁, 今中啓之, 武井修治. 生物学的製剤がもたらす若年性特発性関節炎 (JIA) の患児・家族のQOL変化. 第116回日本小児科学会学術集会 広島 2013.04.19-04.21
4. 富板美奈子, 小林一郎, 野中由希子, 原 良紀, 伊藤保彦, 岩田直美, 村田卓士, 梅林宏明, 井上祐三朗, 森田慶紀, 有馬孝恭, 森雅亮. 小児期シェーグレン症候群患者の長期経過ワーキンググループ報告第3報. 第57回日本リウマチ学会総会・学術集会 第22回国際リウマチシンポジウム 京都 2013.04.18-04.20
5. 野中由希子, 久保田知洋, 山崎雄一, 赤池治美, 山遠 剛, 嶽崎智子, 大迫由紀, 根路銘安仁, 今中啓之, 武井修治. 生物学的製剤がもたらす若年性特発性関節炎 (JIA) の患児・家族のQOL変化. 第116回日本小児科学会学術集会 広島市 2013.04.19-04.21
6. 黒江奈央¹⁾, 吉留厚子²⁾. 種子島の助産師出向の試み. 第27回日本助産学会, 金沢市, 2013.5.1-2.
7. Osako Y, Takei S, Yamashita S, Nonaka Y, Akaike H, Hokonohara M. Quality of life (QOL) in children with juvenile idiopathic arthritis (JIA) treated with biologic agents- a nation-wide survey by using Pediatric Quality of Live Inventory 4.0 Generic Core Scales (PedsQL). ICN 25th Quadrennial Congress 2013, Melbourne, Australia, 2013.5.18-23
8. 久保田知洋, 山遠 剛, 山崎雄一, 赤池治美, 野中由希子, 嶽崎智子, 根路銘安仁, 今中啓之, 武井修治. 全身型JIA患者におけるdrug-free寛解とサイトカインの変動. 第5回KOCs小児リウマチ研究会. 福岡市2013.6.1
9. Harigai M, Inokuma S, Ishiguro N, Ryu J, Takeuchi T, Takei S, Tanaka Y, Yamanaka H, Sano Y, Yaguramaki H, Koike T. Characteristics associated with better effectiveness and safety in rheumatoid arthritis patients treated with intravenous tocilizumab: Results from full analysis of all-patient postmarketing surveillance in Japan. Annual European Congress of Rheumatology (EULAR 2013). Madrid Spain, 2013.6.12-15.
10. Itoko Hayashi, Atsuko, Yoshidome, Kiyomi, Konishi. Comparison of Sleep between Women in the Third Trimester of Pregnancy Living at Home and those Staying in the Hospital, 11th World Congress of Perinatal Medicine, Moscow, 2013.6.19-22.
11. 俊 彩, 麦田すみ子, 北村愛, 谷口光代, 森律子, 船迫美穂, 井上尚美, 下敷領須美子: H T L V - 1陽性妊産婦が持つ児の栄養法に関わる不安と困難, 公益社団法人鹿児島県助産師会, 第26回鹿児島県母性衛生学会, 2013.8.10
12. 田淵康子¹⁾, 草間朋子²⁾, 吉留厚子, 熊谷有記¹⁾ (佐賀大学医学部保健学科¹⁾, 東京医療保険大学東が丘看護学部²⁾). 子宮内膜症患者の健康関連QOLと関連要因の検討. 第39回日本看護研究学会, 秋田市2013.8.22-23.
13. 北村愛, 麦田すみ子, 谷口光代, 俊 彩, 森律子, 船迫美穂, 井上尚美, 下敷領須美子: H T L V - 1陽性妊産婦の子どもへの影響に関する不安の現状, 公益社団法人鹿児島県助産師会, 平成25年度鹿児島県母性衛生学会, 2013.8.25
14. 大迫由紀, 武井修治, 野中由希子, 赤池治美, 銚之原 昌. 生物学的製剤で治療した若年性特発性関節炎(JIA)患児のQOL-全国調査の結果 PedsQLを用いて(2). 第27回鹿児島県小児保健学会. 鹿児島市2013.8.25
15. 下敷領須美子: インドネシア国におけるピアリーダー養成活動, 第32回日本思春期学会 シンポジウム 「ピアの想いは国境を越えて~若者の未来づくりのために」, 和歌山市, 2013.8.31
16. 武井修治. 小児リウマチ性疾患-診断のコツとpit-fall. 第92回山陰小児科学会. 米子市2013.9.1
17. 武井修治. 難治性全身型JIA(sJIA)に対するトシリズマブ(TCZ)による治療-Drug-free寛解をめざした治療プロトコールの提案. 第23回JCR近畿支部学術集会シンポジウム 「リウマチ性疾患難治性病態の新しい診断と治療アプローチ」. 大阪市2013.9.7
18. 的場浩二, 赤崎えり子, 吉留厚子, 八田冷子. 看護職が抱く職場の課題, 第44回日本看護学会 看護総合, 別府市, 2013.9.13-14.
19. 鎌賀愛¹⁾, 吉留厚子, 濱崎清歌²⁾, 野元美穂³⁾, 片平久美子⁴⁾, 上野ひとみ⁵⁾, 松下加代子⁶⁾ (鹿児島大学医学部・歯学部附

業績目録

- 属病院¹⁾、鹿児島市立病院²⁾、鹿屋医療センター³⁾、愛育病院⁴⁾、パルーン助産院⁵⁾、今村病院⁶⁾。卒業1、2年の助産師を対象にした新人助産師合同研修の評価。第44回日本看護学会 母性看護，岡山市2013.9.26-27.
20. 大迫由紀，武井修治，野中由希子，赤池治美，鉦之原 昌。生物学的製剤は若年性特発性関節炎(JIA)のQOLを改善したか？(3)-PedsQLを用いた検討 全国調査。第60回日本小児保健学会。東京2013.9.28.
 21. 北村愛，谷口光代，井上尚美，下敷領須美子，根路銘安仁：産科医療施設におけるHTLV-1陽性妊産婦への支援状況 鹿児島県における調査をもとに，第54回日本母性衛生学会，さいたま市，2013.10.5
 22. 谷口光代，北村愛，井上尚美，下敷領須美子，根路銘安仁：HTLV-1陽性妊産婦からの相談内容 鹿児島県における保健師および助産師へのアンケート調査をもとに，第54回日本母性衛生学会，さいたま市，2013.10.5
 23. 根路銘安仁，北村愛，谷口光代，井上尚美，下敷領須美子：鹿児島県のHTLV-1母子感染対策の現状と全国マニュアル導入時の問題点，第54回日本母性衛生学会，さいたま市，2013.10.5
 24. 谷口光代，下敷領須美子：徳之島における島外お母体搬送の現状と課題：第54回日本母性衛生学会，さいたま市，2013.10.5
 25. 高田久美子，若松美貴代，吉留厚子，下敷領須美子，井上尚美，黒江奈央：既卒助産師の大学院への進学に対する意識，第54回日本母性衛生学会，さいたま市，2013.10.5
 26. 井上尚美，若松美貴代，吉留厚子：離島で活動する助産師が保健師から求められる能力，第54回日本母性衛生学会，さいたま市，2013.10.5
 27. 武井修治。小児リウマチ性疾患の過去・現在・これから。第154回日本小児科学会鹿児島地方会 鹿児島 2013.10.20
 28. Kubota T, Yamatou T, Nonaka Y, Akaike H, Nagakura T, Yamasaki Y, Takezaki T, Nerome Y, Imanaka H, Takei S. Changes in serum IL-18 level in systemic juvenile idiopathic arthritis patients who attained drug-free remission by tocilizumab. Annual Scientific Meeting of American College of Rheumatology 2013, San Diego, USA, 2013.10.25-30
 29. Yamatou T, Kubota T, Nonaka Y, Akaike H, Nagakura T, Yamasaki Y, Takezaki T, Nerome Y, Imanaka H, Ikeda K, Kambe N, Takei S. Quantitative image analysis of articular involvement in Blau syndrome by radiographic carpal length and ultrasound. Annual Scientific Meeting of American College of Rheumatology 2013, San Diego, USA, 2013.10.25-30.
 30. Osako Y, Nonaka Y, Akaike H, Kubota T, Yamatou T, Nagakura T, Yasumura J, Imanaka H, Takei S. Psychological health condition of JIA patients treated with biologic agents- A nation-wide survey in Japan. Annual Scientific Meeting of American College of Rheumatology 2013, San Diego, USA, 2013.10.25-30.
 31. 山遠 剛，久保田知洋，長倉智和，山崎雄一，野中由希子，赤池治美，根路銘安仁，嶽崎智子，今中啓之，鉦之原 昌，武井修治，河野嘉文。若年発症サルコイドーシス/Blau症候群 (EOS/Blau) における関節病態の解析。第23回日本小児リウマチ学会総会・学術集会 埼玉 2013.10.11-10.13
 32. 山遠 剛，久保田知洋，長倉智和，山崎雄一，赤池治美，野中由希子，根路銘安仁，嶽崎智子，今中啓之，鉦之原 昌，武井修治，河野嘉文。若年性強直性脊椎炎への生物学的製剤投与における考察。第23回日本小児リウマチ学会総会・学術集会 埼玉 2013.10.11-10.13
 33. 赤池治美，山遠 剛，久保田知洋，山崎雄一，野中由希子，根路銘安仁，嶽崎智子，今中啓之，是松聖悟，武井修治。妊娠・出産をした若年性特発性関節炎 (JIA) の2例。第23回日本小児リウマチ学会総会・学術集会 埼玉 2013.10.11-10.13
 34. 松浦未央，武井 藍，大山徹也，牧 美充，荒田 仁，松浦英治，高嶋 博，武井修治，榮樂信隆。ミコフェノール酸による加療が奏功したNPSLEの症例～社会的背景も交えて～。第23回日本小児リウマチ学会総会・学術集会 埼玉 2013.10.11-10.13
 35. 藤川 敏，山口賢一，武井修治，根路銘安仁，嶽崎智子，三好真理，笠井和子，伊藤保彦，五十嵐徹，横田俊平，今川智之，稲毛康司，藤田之彦，金城紀子，梅林宏明，西小森隆太，富板美奈子，宮前多佳子。そうに期発症パーチェット病診断基準のためのワーキンググループ報告。第23回日本小児リウマチ学会。さいたま市2013.10.13
 36. 武井修治，伊藤保彦，横田俊平。小児リウマチ医療のこれから - 専門医制度と小慢制度。第23回日本小児リウマチ学会。さいたま市2013.10.13
 37. 金城紀子，岩田直美，富板美奈子，岡藤郁夫，山口賢一，今川智之，森 雅亮，根路銘安仁，武井修治，横田俊平，藤川 敏。小児リウマチ研修会ワーキンググループのとりくみ。第23回日本小児リウマチ学会。さいたま市2013.10.13
 38. 久保田知洋，山遠 剛，山崎雄一，野中由希子，嶽崎智子，赤池治美，根路銘安仁，今中啓之，武井修治。全身型JIA患者におけるdrug-free寛解とサイトカインの変動。第23回日本小児リウマチ学会。さいたま市2013.10.12
 39. 久保田知洋，山遠 剛，山崎雄一，赤池治美，野中由希子，嶽崎智子，根路銘安仁，今中啓之，武井修治。Adalimumab投与中にHBウイルス初感染を来した多関節型JIAの18歳女性症例。第23回日本小児リウマチ学会。さいたま市2013.10.13

業績目録

40. 久保田知洋, 山遠 剛, 西 順一郎, 武井修治, 河野嘉文. 若年性特発性関節炎治療中に間質性肺炎を発症した10歳女児症例. 第46回日本小児呼吸器学会 佐賀 2013.11.22-11.23
41. 長澤芳¹⁾, 岡本康裕²⁾, 田原妃紗¹⁾, 石神えり¹⁾, 山口京子¹⁾, 山下早苗 (¹⁾鹿児島大学医学部・歯学部附属病院, ²⁾鹿児島大学小児科). 小児科病棟におけるグリーンカンファレンスの検討, 第11回日本小児がん看護学会, 福岡市, 2013.11.

D. その他

1) 報告書

1. 武井修治. 小児リウマチ医療の進歩その始まりと現在. 北海道小児リウマチ性疾患研究会25周年記念誌, 17-18, 2013.1
2. 鎌賀愛¹⁾, 吉留厚子²⁾, 片平久美子³⁾, 上野ひとみ⁴⁾, 野元美穂⁵⁾, 松下加代子⁶⁾, 濱崎清歌⁷⁾. (鹿児島大学医学部・歯学部附属病院¹⁾, 鹿児島大学²⁾, 愛育病院³⁾, パルーン助産院⁴⁾, 鹿屋医療センター⁵⁾, 今村病院⁶⁾, 鹿児島市立病院⁷⁾). 新卒助産師教育への取り組みおよび「新人助産師合同研修会」の立ち上げについて. 鹿児島県母性衛生学会誌. 17: 9-11, 2013.3.
3. 吉留厚子¹⁾, 野元美穂²⁾ (鹿児島大学¹⁾, 鹿屋医療センター²⁾). 分娩施設における防災マニュアル整備の推進, 平成24年度国立大学法人運営交付金特別経費(プロジェクト分) - 地域貢献機能の充実 「南九州から南西諸島における総合的防災研究の推進と地域防災体制の構築」報告書: 19-28, 2013.3.
4. 武井修治, 大迫由紀, 山下早苗, 野中由希子, 赤池治美: 生物学的製剤がもたらす若年性特発性関節炎(JIA)患児の生活機能の変化 - PedsQLによる身体機能・精神機能評価と影響因子, 小児慢性特定疾患の登録・管理・解析・情報提供に関する研究(厚生労働省科学研究費報告書), 平成24年度総括・分担研究報告書, 117-126, 2013.3.
5. 武井修治, 久保田知洋, 山遠 剛. 自己炎症疾患と自己免疫疾患の連続性に関する研究-早期発症および家族歴のある小児SLEの臨床病態特性. 自己炎症性疾患とその類縁疾患に対する新規診療基盤の確立, 平成24年度総括・分担研究報告書: 140-145, 2013.3
6. 武井修治, 山遠 剛, 久保田知洋, 山崎雄一. ブラウ症候群/若年発症サルコイドーシスに対する治療評価-生物学的背製剤による治療. NOD2変異に関連した全身性炎症性肉芽腫性疾患(ブラウ症候群/若年発症サルコイドーシス)の診療基盤推進に関する研究. 平成24年度総括・分担研究報告書: 22-29, 2013.4
7. 武井修治, 久保田知洋, 山遠 剛. 自己炎症性疾患の診断・鑑別のためのスクリーニング検査に関する研究. TNF受容体関連周期性症候群(TRAPS)の病態の解明と診断基準作成に関する研究. 平成24年度総括・分担研究報告書: 15-21, 2013.5
8. 吉留厚子. ニュージーランドにおける妊産婦を支える助産ケアについて. 鹿児島市医報 2013年52(8): 44-47.2013.8
9. 武井修治. 日本の小児膠原病医療の現在とこれから. 膠原170: 38-41, 2013.8
10. 武井修治. 小児リウマチ医療の“今”と, “これから”. 会報あすなる58; 13-15, 2013.9

2) 講演

1. 吉留厚子. 助産師教育. 臨床指導者講習会, 鹿児島県看護協会, 鹿児島市, 2013.1.10
2. 武井修治. TCZによる全身型JIAのdrug-free寛解とBio製剤によるJIAの画像寛解. 第4回北部九州山口TCZ講演会. 北九州市, 2013.1.12
3. 武井修治. 小児リウマチ性疾患の最新医療~診断・治療とその評価~. 第15回高知小児感染・免疫・アレルギー研究会. 高知市, 2013.1.16
4. 井上尚美: 平成24年度実習指導者講習会 実習指導の実際(母性看護), 公益社団法人鹿児島県看護協会, 鹿児島市, 2013.1.16
5. 下敷領須美子: 思春期のこころとからだ, 桜ヶ丘東小学校家庭教育学級, 鹿児島市, 35名, 2013.1.29
6. 吉留厚子. 看護研究指導. 県立大島病院教育指導, 奄美市, 2013.2.2
7. 井上尚美: 心と心で育まれる性教育, 伊佐市学校保健会, 菱刈農村環境改善センター, 肝付町, 2013.2.8
8. 下敷領須美子: 対等で互いに尊重し合うパートナーシップ - デートDVの被害者・加害者にならないために -, 鹿児島県平成24年度「学校への男女共同参画お届けセミナー」, 鹿児島県立隼人工業高等学校, 2013.2.14
9. 吉留厚子. 周産期の防災について 国立法人医療センター指宿病院, 2013.2.18
10. 下敷領須美子: 互いに尊重し合うパートナーシップ - 自分の人生と健康を守ろう -, 平成24年度鹿児島県児童虐待防止対策事業「西之表市思春期健康教育」鹿児島県立種子島高等学校, 2013.2.26
11. 井上尚美: 親子で考える性に関する教育, 性教育講演会, 伊佐市大口南中学校, 伊佐市, 2013.2.27

業 績 目 録

12. 下敷領須美子：思春期の現状と対応 望まない妊娠・若年出産と児童虐待予防 ，平成24年度思春期保健関係者研修会，徳之島保健所，2013.3.6
13. 武井修治：小児リウマチ診療に求められるもの。第2回小児リウマチ研修会。那覇市，2013.3.15
14. 下敷領須美子：望まない妊娠・若者の性の現状 性と生の学習で心がけたいこと ，平成24年度健やかな妊娠・出産のための地域支援事業研修会及びハイリスク母子支援検討会，出水市出水保健センター，2013.3.26
15. 武井修治：小児リウマチ診療 最新医療の現状と課題。あすなる会関西支部会。高槻市，2013.3.30
16. 山下早苗。「小児慢性特定疾患児の在宅支援について」，平成25年度県保健所母子保健担当者会議の講話，鹿児島県庁2階会議室，2013.4.19
17. 山下早苗。子どもの病気と事故対策，めぐみ保育園，鹿児島市，2013.5.21
18. 武井修治。子どもの病気と事故。平成25年度育児サポーター研修会。鹿児島市，2013.5.28
19. 下敷領須美子：デートDVの理解と支援，デートDV被害者支援に関する研修 DV被害者支援コーディネーター事業，かごしま県民交流センター，2013.5.30
20. 吉留厚子。なぜ専門職として看護研究をしなければならないか，鹿児島市立病院，2013.6.13
21. 下敷領須美子：対等で互いに尊重し合うパートナーシップ - デートDVの被害者・加害者にならないために - ，鹿児島県立鹿屋高等学校 性に関する講演会，2013.6.13
22. 井上尚美：いのちとこころのおはなし，性教育講演会，株式会社ワークステーションつばさ，鹿児島市，2013.6.22
23. 山下早苗。「小児看護と家族支援」，鹿児島県看護協会主催研修会，鹿児島県看護協会，2013.6.22.
24. 山下早苗。子どもの保健，平成25年度保育士試験準備講習会，鹿児島市，2013.6.29
25. 井上尚美：“こころ”と“いのち”を育むおとなへの道，性教育推進事業，鹿児島市立長田中学校，鹿児島市，2013.7.1
26. 吉留厚子。エイズと性感染症の実態，鹿児島市緑丘中学校，2013.7.3
27. 吉留厚子。看護研究指導。県立大島病院教育指導，奄美市，2013.7.6
28. 井上尚美：人と人とのつながりで育まれるいのち ～からだの成長だけではだめなんだよ！～，性教育推進事業，鹿児島市立皇徳寺中学校，鹿児島市，2013.7.17
29. 下敷領須美子：鹿児島大学出前授業 生命の誕生に寄り添う，県立指宿高等学校 柏葉一日総合大学講座，2013.7.23
30. 下敷領須美子：自分らしく生きるために...ココロとカラダの処方箋，2013鹿児島県男女共同参画週間事業，県民交流センター，2013.7.27
31. 吉留厚子。看護研究の基礎及びデータ解析入門。鹿児島大学公開講座，鹿児島大学，鹿児島市，2013.7.28
32. 武井修治。小児リウマチ医療の“今”と“これから”平成25年度あすなる会サマーキャンプ。東京都 2013.8.5
33. 山下早苗。小児慢性特定疾患児の在宅支援，出水保健所，出水市，2013.8.6.
34. 下敷領須美子：みんなで取組む思春期保健 教育・医療・保健それぞれの立場でできること ，伊佐地域思春期保健関係者ネットワーク連絡会及び研修会，大口元気こころ館，2013.8.8
35. 吉留厚子。ファーストレベル教育，鹿児島県看護協会，鹿児島市，2013.8.19-20
36. 下敷領須美子：鹿児島大学出前授業 生命の誕生に寄り添う，県立沖永良部高等学校，2013.8.29
37. 下敷領須美子：女性と人権 性差と人権について考えてみよう ，霧島市教育委員会 人権教育啓発推進者養成講座，霧島市立隼人公民館，2013.9.6
38. 下敷領須美子：私らしさを輝かせよう，きりしま女性講座，国分公民館，2013.9.7
39. 下敷領須美子：いいお産ってなんだろう！ 現代の妊娠・出産を巡る諸問題から ，平成25年度健やかな妊娠・出産のための地域支援研修会，西之表保健センター，2013.9.17
40. 下敷領須美子：対等で互いに尊重し合うパートナーシップ - デートDVの被害者・加害者にならないために - ，鹿児島市男女共同参画出前授業 今村学園ライセンスアカデミー，サンエール，2013.9.27
41. 吉留厚子。クリニカルラダー/クリニカルパスを学ぶ，鹿児島県看護協会，鹿児島市，2013.10.13
42. 吉留厚子。助産倫理，新人助産師研修，鹿児島県看護協会，鹿児島市，2013.10.18.
43. 下敷領須美子：女だから...を言い訳にしませんか？ 喜びも責任も分かち合い一歩を踏み出そう ，第32回かごしま市女性大会 基調講演，サンエール，2013.10.30
44. 井上尚美：大人として人と性に向き合うために - 何となく大人になってはいけない！ - ，性教育に関する講演会，学校法人日章学園鹿児島城西高等学校，伊集院町，2013.10.30
45. 吉留厚子。出前授業，大学で看護を学ぶことにより将来は，八代清流高校，2013.10.31

業績目録

46. 武井修治. 小児SLEの診療指針. 第2回東北小児膠原病研究会. 盛岡市2013.11.2
 47. 武井修治. 子どもが手足が痛いと思ったら. 第1回鹿児島Pit-fall研究会. 鹿児島市2013.11.7
 48. 井上尚美: 性は遊びじゃない! 性教育に関する講演会, 学校法人日章学園鹿児島城西高等学校, 伊集院町, 2013.11. 8
 49. 山下早苗. 小児看護学「小児看護の魅力」, 出張講義, 鹿児島県立大口高等学校, 2013.11.8.
 50. 若松美貴代: 「母」について考えよう~母としての私, 娘としての私~. 鹿児島市男女共同参画センター(計5回), 鹿児島市, 2013.11.9-12.14
 51. 武井修治. 関節型JIA(若年性特発性関節炎)の診断と治療. 第20回日本整形外科学会認定リウマチ医研修会. 東京都2013.11.10
 52. 下敷領須美子: 楽しいデートのための準備講座 対等で互いに尊重し合うパートナーシップ, 鹿屋市男女共同参画推進研修会 鹿屋市立輝北中学校, 2013.11.12
 53. 山下早苗. 小児看護学「小児看護の魅力」, 出張講義, 鹿児島県立鹿児島南高等学校, 2013.11.26
 54. 下敷領須美子: 対等で楽しいデートのための準備講座 すてきな人生をおくるために, 出水市教育講演会, 米ノ津中学校, 2013.11.29
 55. 井上尚美: 『いのちの誕生』自分と人のいのちについて考える, 性教育講座, 鹿児島市立皇徳寺中学校, 2012.12.3
 56. 山下早苗. 慢性疾患をもつ子どもと家族へ - 子どもの療養に焦点をあてて -, 鹿児島市保健所, 鹿児島市, 2013.12.3.
 57. 吉留厚子. 研究指導, 今給黎病院, 研究指導, 2013.12.7
 58. 下敷領須美子: 多様なセクシュアリティを尊重し合うために, 第2回鹿児島県助産師会公開講座 それぞれの性を生きる知ってますか? L G B T Q, 県民交流センター, 2013.12.7
 59. 武井修治. JIAの診かたと治療. 平成25年度東海・北陸地区リウマチ教育研修会. 富山市2013.12.8
 60. 下敷領須美子: 対等で楽しいデートのための準備講座 すてきな人生をおくるために, 玉龍中学校, 2013.12.10
 61. 井上尚美: 「いのちの誕生」大人になるってどういうこと? 性教育講座, 伊佐市立山野中学校, 伊佐市, 2013.12.10
 62. 下敷領須美子: 一人ひとりの人権が尊重され性別による差別や制約がない社会をめざそう, 平成25年度「学校への男女共同参画お届けセミナー」県立中央高等学校, 2013.12.11
 63. 下敷領須美子: 思春期の現状と対応 望まない妊娠・若年出産と児童虐待予防, 沖永良部地区思春期保健関係者研修会, 和泊町防災センター, 2013.12.13
 64. 武井修治. 関節痛(小児)に潜むJIAの診断. 5A Trust Forum 2013. 東京都2013.12.14
 65. 下敷領須美子: 思春期の保健の現状と私たちの役割 望まない妊娠・若年出産と児童虐待予防, 鹿児島県志布志保健所平成25年度思春期保健関係者研修会, 大崎町中央公民館, 2013.12.17
 66. 下敷領須美子: もし, 妊娠したら... 身体とところをしっかりと守って自分の人生をたいせつに, 平成25年度鹿児島県児童虐待防止対策事業「西之表市思春期健康教育」種子島中学校, 2013.12.18
 67. 下敷領須美子: デートDVの被害者にならないために 対等な関係で愛を育もう
 68. 吉留厚子. 教育課程(助産師), 平成25年度実習指導者講習会, 鹿児島県看護協会, 鹿児島市, 2013.12.19
 69. 井上尚美: 人と人とのつながりで育まれるいのち, 性に関する情報交換会, 公益社団法人鹿児島県看護協会, 鹿児島市, 2013.12.21
 70. Takei S. Current status of JIA management in Japan. 林口長庚記念醫院Morning lecture. Taipei, Republic of China, 2013.12.20
 71. Takei S. Efficacy and safety of tocilizumab in JIA treatment. Recent advances in the management of juvenile idiopathic arthritis in 2013. Allergic and Immunologic Board of Chinese Society of Immunology. Taipei, Republic of China 2013.12.21
- 3) 報道・その他
1. 下敷領須美子: しゃべくりカフェinサンエールワークショップ, サンエールフェスタ2013ワークショップ, 鹿児島市, 2013.2.3
 2. 下敷領須美子: HTLV-1母子感染予防対策と栄養方法ファラム「それぞれの立場から現状と課題を共有しよう」シンポジウム座長, 「栄養方法の選択とその後のサポート」グループワーク, 鹿児島県医師会館, 2013.2.6
 3. 下敷領須美子・ピアカウンセラー: ハッピーグラフを描こうピアエデュケーション, 松元中学校, 2013.2.15
 4. 下敷領須美子, ピアカウンセラー: ピア・エデュケーション, 薬物・喫煙から身を守る 望まない妊娠を防ぐ 性感染症を防ぐ, 尚志館高等学校, 2年生 220名対象, 2013.3.7
 5. 下敷領須美子: ママピア養成講座in徳之島「仲間で楽しく! グループで行うピア活動」, 第2回徳之島ママピア, NPO法

業 績 目 録

- 人親子ネットワークがじゅまるの家，徳之島町合同会館，2013.3.18
6. 下敷領須美子・ピアカウンセラー：1年生「よりよい関係を築くために」2年生「自分と相手のからだを大切にしよう」霧島教育委員会人権セミナーin高校，ピアエデュケーション，県立国分高等学校，2013.3.21
 7. 下敷領須美子：子育てとジェンダー，第3回徳之島ママピア，NPO法人親子ネットワークがじゅまるの家，徳之島町合同会館，2013.5.13
 8. 下敷領須美子・ピアカウンセラー：peerカウンセリングin志布志「自分の人生を大切にするために今できること」志布志市ピアカウンセリング，志布志市役所志布志支所，2013.8.12・13
 9. 下敷領須美子：熊本大学・宮崎大学・鹿児島大学合同平成22年度ピアカウンセラー養成講座（日本ピアカウンセリング研究会認定），芦北青少年の家，対象者45名，2013.8.17～20
 10. 下敷領須美子・ピアカウンセラー：1年生「互いを尊重するコミュニケーション 自分の気持ちを伝えよう」2年生「デートDV 対等な関係について考えよう」3年生「生命の大切さについて知ろう 妊娠の成り立ち」霧島教育委員会人権セミナーin高校，ピアエデュケーション，県立隼人工業高校，2013.9.19
 11. 下敷領須美子・ピアカウンセラー：自分について考えてみよう！吹上中学校ピアエデュケーション，2013.9.24
 12. 下敷領須美子：母子保健，ピアカウンセリング・エデュケーション，JICA地域別コース「アジア・大洋州島嶼地域問題解決型の保健専門職人材育成」，Problem-solving Skills実習，講義・演習，キリバス，ミクロネシア，ツバル，マーシャル，パラオ，2013.10.29，11.1
 13. 吉留厚子．読売新聞の記事「意見視点～助産師の偏在是正急げ」2013.11.24
 14. 下敷領須美子，ピアカウンセラー：高校生のためのピアサポーター養成講座，鹿児島県男女共同参画センター主催，平成25年度若者による暴力未然防止の活動支援事業，鹿児島県民交流センター中研修室，16名，2012.12.9
 15. かごしま県民交流センター「若者のためのピアカウンセリング事業」の共催
相談実施日：毎月1回 原則として第3土曜日 午後2～4時
相談場所：かごしま県民交流センターサロン内ミーティングルーム（1階）
相談員体制：鹿児島大学ボランティアサークル「ピア・びあ・かごしま」のメンバー
相談窓口顧問：下敷領須美子

業績目録

[理学療法学専攻]

A. 著書

1. 米 和徳：運動器の廃用と筋変化・萎縮，運動器慢性痛診療の手引き．日本整形外科学会運動器疼痛対策委員会編，南江堂，pp33-36，2013
2. 米 和徳：運動器慢性痛における運動療法の原則と実際，運動器慢性痛診療の手引き．日本整形外科学会運動器疼痛対策委員会編，南江堂，pp95-99，2013
3. 樋口逸郎：全身こむら返り病（里吉病），今日の神経疾患治療指針・医学書院，pp.817-819（2013）.
4. 樋口逸郎：Ullrich，ベスレムミオパチー，筋疾患診療ハンドブック・中外医学社，pp.165-170（2013）.
5. 樋口逸郎：周期性四肢麻痺，日本医師会雑誌 特別号(2)神経・精神疾患診療マニュアル，Vol.142，pp.236-237（2013）.
6. 樋口逸郎：骨格筋の形態と機能，内科学第10版・朝倉書店，pp.1318-1319（2013）.
7. 樋口逸郎：グリコーゲン病（糖原病），内科学第10版・朝倉書店，pp.2342-2343（2013）.
8. Horai N, Nagaoka T, Higuchi I, Kasai H, Yoshioka T, Umekita Y, Fukuzaki K, Nagata R, Miyata A, Abeyama K, Muscle wasting associated with pathologic change is a risk factor for the exacerbation of joint swelling in collagen-induced arthritis in cynomolgus monkeys., *BMC Musculoskeletal Disorders*, Vol.14, pp.205（2013）.
9. Zhao Z, Hu J, Sakiyama Y, Okamoto Y, Higuchi I, Li N, Shen H, Takashima H., DYSF mutation analysis in a group of Chinese patients with dysferlinopathy., *Clinical Neurology and Neurosurgery*, Vol.115, pp.1234-1237（2013）.
10. Yuan JH, Sakiyama Y, Higuchi I, Inamori Y, Higuchi Y, Hashiguchi A, Higashi K, Yoshimura A, Takashima H, Mitochondrial myopathy with autophagic vacuoles in patients with the m.8344A>G mutation., *Journal of Clinical Pathology*, Vol.66, pp.659-664（2013）.
11. Yuan JH, Higuchi I, Sakiyama Y, Inamori Y, Matsuura E, Higuchi Y, Yoshimura A, Saigo R, Hashiguchi A, Higashi K, Arimura K, Takashima H, Novel mutations identified in patients with a mild phenotype of Ullrich congenital muscular dystrophy through targeted next-generation sequencing., *Neurology and Clinical Neuroscience*, Vol.1, pp.148-153（2013）.
12. Usuki F, Yamashita A, Shiraiishi T, Shiga A, Onodera O, Higuchi I, Ohno S, Inhibition of SMG-8, a subunit of SMG-1 kinase, ameliorates nonsense-mediated mRNA decay-exacerbated mutant phenotypes without cytotoxicity., *Proceedings of the National Academy of Sciences*, Vol.110, pp.15037-15042（2013）.

B. 論文

1. Tofuku K, Koga H, Yone K, Komiya S.: Distractive flexion injuries of the subaxial cervical spine treated with a posterior procedure using cervical pedicle screws or a combined anterior and posterior procedure. *J Clin Neurosci*. 2013; 20(5): 697-701.
2. 米 和徳，井尻幸成，山元拓哉，田邊 史，榑松昌彦，小宮節郎：頭蓋頸椎移行部 手術 頸椎の側方進入，脊椎脊髄ジャーナル 26(4):263-266，2013
3. 上村明子，榑間春利，宮崎雅司，酒瀬川恵美，松田史代，米 和徳，吉田義弘，砂原伸彦，松田剛正：人工股関節全置換術後患者の股関節・膝関節筋力，股関節機能，歩行能力の推移，鹿児島大学医学部保健学科紀要23(1):19-23，2013
4. 篠原直弘，山元拓哉，井尻幸成，川畑直也，田邊 史，榑松昌彦，石堂康弘，米 和徳，小宮節郎：矯正操作中に著しい血圧低下を認めた側弯症の一例，整形外科と災害外科62(2): 279-281，2013
5. 榑松昌彦，藤元祐介，井尻幸成，山元拓哉，米 和徳，小宮節郎：脊髄損傷における神経ネットワークの再構築，*Journal of Spine Research* 4(3): 205，2013
6. 山元拓哉，井尻幸成，齋藤嘉信，川畑直也，田邊 史，榑松昌彦，河村一郎，米 和徳，小宮節郎：鹿児島県における胸郭不全症候群の発症率調査，*Journal of Spine Research* 4(3): 254，2013
7. 山元拓哉，井尻幸成，川畑直也，田邊 史，榑松昌彦，河村一郎，米 和徳，小宮節郎：胸椎pedicle screwを用いた特発性側弯症手術例のsagittal spinal alignment，*Journal of Spine Research* 4(3): 344，2013
8. 米 和徳，今城靖明，井口哲弘，大川 淳，大谷晃司，尾形直則，小澤浩司，島田洋一，根尾昌志，田口敏彦：脊椎脊髄手術合併症調査報告，*Journal of Spine Research* 4(3): 462，2013
9. 田邊 史，河村一郎，榑松昌彦，川畑直也，山元拓哉，井尻幸成，武富栄二，米 和徳，小宮節郎：骨粗鬆症性脊椎椎体骨折陳旧例に対するHA blockを用いた椎体形成術の治療成績，*Journal of Spine Research* 4(3): 585，2013
10. 榑松昌彦，井尻幸成，川内義久，富村奈津子，米 和徳，小宮節郎：脊髄髄膜腫におけるMRI画像所見による新規脊髄評価

業績目録

- 法と術後臨床成績の検討, *Journal of Spine Research* 4(3): 628, 2013
11. 河村一郎, 井尻幸成, 山元拓哉, 川畑直也, 田邊 史, 榑松昌彦, 米 和徳, 小宮節郎: 脊髄髄膜腫摘出術における硬膜処置・再建方法の検討, *Journal of Spine Research* 4(3): 703, 2013
 12. 井尻幸成, 山元拓哉, 川畑直也, 田邊 史, 榑松昌彦, 河村一郎, 齋藤嘉信, 米 和徳, 小宮節郎: 当科における結核性脊椎炎に対する観血的治療 術式の変遷と臨床成績, *Journal of Spine Research* 4(3): 759, 2013
 13. 川畑直也, 井尻幸成, 山元拓哉, 田邊 史, 榑松昌彦, 河村一郎, 築瀬光宏, 米 和徳, 小宮節郎: チタン合金性スペーサーを用いた腰椎後方椎体間固定術後成績 放射線学的検討, *Journal of Spine Research* 4(3): 801, 2013
 14. 川畑直也, 井尻幸成, 山元拓哉, 石堂康弘, 田邊 史, 榑松昌彦, 河村一郎, 小宮節郎, 米 和徳: 胸椎症性脊髄症に対する後方除圧固定術の治療経験, *整形外科と災害外科*62:(3)543-545, 2013
 15. 河村一郎, 井尻幸成, 山元拓哉, 石堂康弘, 川畑直也, 田邊 史, 榑松昌彦, 徳本寛人, 米 和徳, 小宮節郎: 嚙下障害を呈する頸椎前縦靭帯骨化症の治療経験, *整形外科と災害外科*62:(4)713-715, 2013
 16. 今城靖明, 田口敏彦, 米 和徳, 大川 淳, 大谷晃司, 尾形直則, 小澤浩司, 島田洋一, 根尾昌志, 井口哲弘: 日本脊椎脊髄病学会 脊椎脊髄手術調査報告 2013, *Journal of Spine Research* 4(9): 1367-1379, 2013
 17. 榑松昌彦, 藤元祐介, 井尻幸成, 山元拓哉, 米 和徳, 小宮節郎: iPS由来神経幹細胞を用いた脊髄損傷再生治療, *日本整形外科学会誌*87(8): S1288, 2013
 18. 富永博之, 井尻幸成, 山元拓哉, 榑間春利, 米 和徳, 田辺 元, 小宮節郎: 胸椎OPLLに対し, 術後HAL(Hybrid Assistive Limb)を用いたりハビリテーションを行い著明に麻痺が改善した1例, *日本生体電気・物理刺激研究会誌 (JJBEP SRS)* 27: 77, 2013
 19. Sakakima H, Ijiri K, Matsuda F, Tominaga H, Biwa T, Yone K, Sankai Y.: A newly developed robot suit hybrid assistive limb facilitated walking rehabilitation after spinal surgery for thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament: a case report. *Case Rep Orthop.* 2013; 2013: 621405
 20. Akihiko Ohwatashi, Satoshi Ikeda, Katsuhiro Harada, Yurie Kamikawa, Akira Yoshida. Exercise enhanced functional recovery and expression of GDNF after photochemically induced cerebral infarction in the rat. *EXCLI journal* 12:693-700, 2013.
 21. Satoshi Ikeda, Akihiko Ohwatashi, Katsuhiro Harada, Yurie Kamikawa and Akira Yoshida. Expected for acquisition movement exercise is more effective for functional recovery than simple exercise in a rat model of hemiplegia. *SpringerPlus* 2013, 2:517 (Published:7 October 2013)
 22. Satoshi Ikeda, Yurie Kamikawa, Akihiko Ohwatashi, Katsuhiro Harada, Akira Yoshida. The effect of anabolic steroid administration on passive stretching-induced expression of mechano-growth factor in skeletal muscle. *The Scientific World Journal Volume 2013 (2013)*, Article ID 313605, 5 pages.
 23. Satoshi Ikeda, Katsuhiro Harada, Akihiko Ohwatashi, Yurie Kamikawa, Akira Yoshida. Contralateral cortical role on functional recovery in a Rat Model of Photochemically induced cerebral infarction. *EXCLI journal* 12:641-646, 2013.
 24. Yurie Kamikawa, Satoshi Ikeda, Katsuhiro Harada, Akihiko Ohwatashi, Akira Yoshida. Passive Repetitive stretching short duration within a week increases myogenic regulatory factors and myosin heavy chain mRNA in rat skeletal muscles. *The Scientific World Journal Volume 2013 (2013)*, Article ID 493656, 6 pages.
 25. Satoshi Ikeda, Katsuhiro Harada, Akihiko Ohwatashi, Yurie Kamikawa. Effects of edaravone, a free radical scavenger, on photochemically induced cerebral infarction in a rat hemiplegic model. *The Scientific World Journal Volume 2013 (2013)*, Article ID 175280, 5 pages.
 26. Satoshi Ikeda, Katsuhiro Harada, Akihiko Ohwatashi, Yurie Kamikawa, Akira Yoshida, Kazumi Kawahira. A New Non-Human Primate Model of Photochemically Induced Cerebral Infarction. *PLoS ONE* 8(3): e60037, 2013.
 27. Akiko Kamimura, Harutoshi Sakakima, Masashi Miyazaki, Megumi Sakasegawa, Kosei Ijiri, Nobuhiko Sunahara, Takemasa Matsuda. Pelvic Inclination Angle and Hip Abductor Muscle Strength after Total Hip Arthroplasty. *J Phys Ther Sci*, 2013; 25: 215-219
 28. Masako Ikutomo, Harutoshi Sakakima, Fumiyo Matsuda, Yoshihiro Yoshida, Midkine-deficient mice delayed degeneration and regeneration after skeletal muscle injury, *Acta histchem* 2013 in press
 29. Harutoshi Sakakima, Kosei Ijiri, Fumiyo Matsuda, Hiroyuki Tominaga, Takanori Biwa, Kazunori Yone, and Yoshiyuki Sankai A Newly Developed Robot Suit Hybrid Assistive Limb Facilitated Walking Rehabilitation after Spinal Surgery for Thoracic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament: A Case Report, *Case Rep Orthop*, 2013, Article ID 621405
 30. 木山 良二: 義肢装具士に関わる評価方法 脳卒中編 理学療法士の立場から. *POアカデミージャーナル*21(2): 89-96,

業績目録

2013.

31. 徳満ふみ*, 川原章吾*, 小湊裕一*, 日吉俊紀*, 山下正策*, 高田昌実*, 木山良二 (*加治木温泉病院): 歩行自立判定基準の作成に向けた取り組み. 全日病学会機関誌24(1): 163-166, 2013.
32. 吉元洋一: 何が大学理学療法教育として望まれているのか, 理学療法教育2: 1-7, 2013
33. 大重 匡: 心電図のみかた, 理学療法学 40(4): 314-317, 2013
34. 上野友愛, 木山良二, 川田将之, 大渡昭彦, 福留清博, 米和徳, 吉元洋一, 大重匡, 貴嶋芳文, 前田哲男: 歩幅の違いが足趾荷重量と中足趾関節の最大伸展角度に与える影響, 理学療法科学 26(6): 727-730, 2013

C. 学会発表

1. 富永博之, 井尻幸成, 山元拓哉, 榊間春利, 米 和徳, 田辺 元, 小宮節郎: 胸椎OPLLに対し, 術後HAL(Hybrid Assistive Limb)を用いたリハビリテーションを行い著明に麻痺が改善した1例, 第14回圧迫性脊髄症研究会, 東京, 2013.1.19
2. 富永博之, 井尻幸成, 山元拓哉, 榊間春利, 米 和徳, 田辺 元, 小宮節郎: 胸椎OPLLに対し, 術後HAL(Hybrid Assistive Limb)を用いたリハビリテーションを行い著明に麻痺が改善した1例, 第40回日本生体電気・物理刺激研究会, 京都, 2013.3.8-9
3. 榊松昌彦, 藤元祐介, 井尻幸成, 山元拓哉, 米 和徳, 小宮節郎: 脊髄損傷における神経ネットワークの再構築, 第42回日本脊椎脊髄病学会, 宜野湾, 2013.4.25-27
4. 山元拓哉, 井尻幸成, 齋藤嘉信, 川畑直也, 田邊 史, 榊松昌彦, 河村一郎, 米 和徳, 小宮節郎: 鹿児島県における胸郭不全症候群の発症率調査, 第42回日本脊椎脊髄病学会, 宜野湾, 2013.4.25-27
5. 山元拓哉, 井尻幸成, 川畑直也, 田邊 史, 榊松昌彦, 河村一郎, 米 和徳, 小宮節郎: 胸椎pedicle screwを用いた特発性側弯症手術例のsagittal spinal alignment, 第42回日本脊椎脊髄病学会, 宜野湾, 2013.4.25-27
6. 米 和徳, 今城靖明, 井口哲弘, 大川 淳, 大谷晃司, 尾形直則, 小澤浩司, 島田洋一, 根尾昌志, 田口敏彦: 脊椎脊髄手術合併症調査報告, 第42回日本脊椎脊髄病学会, 宜野湾, 2013.4.25-27
7. 田邊 史, 河村一郎, 榊松昌彦, 川畑直也, 山元拓哉, 井尻幸成, 武富栄二, 米 和徳, 小宮節郎: 骨粗鬆症性脊椎椎体骨折陳旧例に対するHA blockを用いた椎体形成術の治療成績, 第42回日本脊椎脊髄病学会, 宜野湾, 2013.4.25-27
8. 榊松昌彦, 井尻幸成, 川内義久, 富村奈津子, 米 和徳, 小宮節郎: 脊髄髄膜腫におけるMRI画像所見による新規脊髄評価法と術後臨床成績の検討, 第42回日本脊椎脊髄病学会, 宜野湾, 2013.4.25-27
9. 河村一郎, 井尻幸成, 山元拓哉, 川畑直也, 田邊 史, 榊松昌彦, 米 和徳, 小宮節郎: 脊髄髄膜腫摘出術における硬膜処置・再建方法の検討, 第42回日本脊椎脊髄病学会, 宜野湾, 2013.4.25-27
10. 井尻幸成, 山元拓哉, 川畑直也, 田邊 史, 榊松昌彦, 河村一郎, 齋藤嘉信, 米 和徳, 小宮節郎: 当科における結核性脊椎炎に対する観血的治療 術式の変遷と臨床成績, 第42回日本脊椎脊髄病学会, 宜野湾, 2013.4.25-27
11. 川畑直也, 井尻幸成, 山元拓哉, 田邊 史, 榊松昌彦, 河村一郎, 築瀬光宏, 米 和徳, 小宮節郎: チタン合金性スペーサーを用いた腰椎後方椎体間固定術後成績 放射線学的検討, 第42回日本脊椎脊髄病学会, 宜野湾, 2013.4.25-27
12. 山元拓哉, 井尻幸成, 永吉隆作, 田邊 史, 榊松昌彦, 富永博之, 河村一郎, 米 和徳, 小宮節郎: 思春期特発性側弯症手術症例のスポーツ復帰, 第79回西日本脊椎研究会, 福岡, 2013.6.7
13. 榊松昌彦, 藤元祐介, 井尻幸成, 山元拓哉, 米 和徳, 小宮節郎: iPS由来神経幹細胞を用いた脊髄損傷再生治療, 第28回日本整形外科学会基礎学術集会, 幕張, 2013.10.17-18
14. 富永博之, 田邊 史, 榊松昌彦, 山元拓哉, 永吉隆作, 米 和徳, 小宮節郎: BDI(Beck Depression Inventory)と腰痛の関与, 第80回西日本研究会, 福岡, 2013.11.8
15. 田邊 史, 井尻幸成, 山元拓哉, 永吉隆作, 榊松昌彦, 富永博之, 伊集院俊郎, 富村奈津子, 齋藤嘉信, 米 和徳, 小宮節郎: 感染性脊椎炎に対する経皮的椎弓根スクリューを用いた後方前方手術の治療経験, 第126回西日本整形・災害外科学術集会, 宇部, 2013.1.9-10
16. 甲斐千尋, 米 和徳: 急性期脊髄損傷後のSCF投与によるアポトーシス抑制機序, 第32回関東甲信越ブロック理学療法学会, 千葉, 2013.11.2-3
17. 稲森由恵, 樋口逸郎, 藤崎なつみ, 橋口昭大, 白石匡史, 東 桂子, 末原雅人, 筋生検にて封入体筋炎が疑われるも後にALSと診断された2症例, 希少難治性筋疾患に関する調査研究班IBM分科会, 2013.2, (仙台)
18. 永田 龍世, 高田 良治, 稲森 由恵, 田邊 肇, 徳永 紘康, 荒田 仁, 池田 賢一, 樋口 逸郎, 高嶋 博, 首下がり, 腰曲がりを呈した炎症性筋疾患の2症例, 第201回日本神経学会九州地方会, 2013.3, (福岡)

業 績 目 録

19. 稲森由恵, 樋口逸郎, 永田龍世, 崎山佑介, 橋口昭大, 高田良治, 岡本裕嗣, 白石匡史, 東 桂子, 池田賢一, 高嶋 博 : MRI拡散強調画像にて皮質下白質に高信号を認めた神経細胞核内封入体病の一家系, 第54回日本神経学会学術大会, 2013.5 (東京)
20. 崎山佑介, 延原康幸, 渡邊 修, 樋口逸郎, 高嶋 博, 高CK血症を契機に診断し得たカペオリン3欠損症の2例, 第303回日本内科学会九州地方会, 2013.11, (那覇)
21. 樋口逸郎, 白石匡史, 橋口昭大, 高嶋 博, 臼杵扶佐子, Collagen 関連疾患の病態解明に関する研究, 筋ジストロフィーおよび関連疾患の診断・治療開発を目指した基盤研究班会議, 2013.12, (東京)
22. 吉田輝*, 大渡昭彦, 池田 聡* (*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療科学専攻運動機能修復学講座機能再建医学) : ラット排尿反射に対する温熱の影響, 第20回日本排尿機能学会, 静岡, 2013.9.19
22. Satoshi Ikeda, Katsuhoro Harada, Akihiko Ohwatashi. Functional recovery on Marmoset model of photochemically induced cerebral infarction. 2nd Japan-Korea NeuroRehabilitation Conference. February 16, 2013. Okayama
23. 上村 明子^{1,3)}, 赤崎 卓哉¹⁾, 原 光一郎¹⁾, 岩川 良彦¹⁾, 橋口 円¹⁾, 依積田 光宏¹⁾, 福迫 剛¹⁾, 砂原 伸彦¹⁾, 酒瀬川 恵美³⁾, 宮崎 雅司^{2,3)}, 榎間 春利. 人工股関節全置換術後患者の骨盤傾斜角と運動機能との関係 (¹⁾鹿児島赤十字病院リハビリテーション科, ²⁾鹿児島大学病院). 第48回日本理学療法学術大会, 名古屋市2013.5.24
24. 松田 史代, 榎間 春利, 入江 愛, 生友 聖子, 甲斐 千尋, 菊池 春菜, 米 和徳, 吉田 義弘. 壮・老年期のトレッドミル運動介入が老化に与える影響について. 第48回日本理学療法学術大会, 名古屋市2013.5.24
25. 菊池 春菜, 松田 史代, 榎間 春利, 生友 聖子, 甲斐 千尋, 米 和徳, 吉田 義弘. アルツハイマー型認知症モデルマウス確立に向けての研究-第1報-. 第48回日本理学療法学術大会, 名古屋市2013.5.24
26. 用皆 正文, 榎間 春利, 米 和徳. 炎症性疼痛ラットの腰髄後角におけるTNF-誘導性ASK1-JNK1経路の活性化. 第48回日本理学療法学術大会, 名古屋市2013.5.24
27. Harutoshi Sakakima, Mushfiquddin Khan¹, Yoshihiro Yoshida, Fumiyo Matsuda, Inderjit Singh¹ (1Medical University of South Carolina, USA). Neurorepair and functional recovery by S-nitrosoglutathione and motor exercise in rats after ischemia reperfusion. Neuro 2013, Kyoto, 2013.6.21
28. Harutoshi Sakakima. Stimulation of functional recovery via neurorepair mechanisms by motor exercise in rat stroke model, WCPT-AWP & ACPT Congress, Taiwan, 2013. 9.7
29. Sumihito Haseba, Hiroshi Kimura, Masashi Miyazaki, Satoshi Ikeda, Takuro Kubozono, Harutoshi Sakakima COMBINED EFFECTS OF REPEATED SAUNA THERAPY AND EXERCISE THERAPY FOR PATIENTS WITH CHRONIC HEART FAILURE, WCPT-AWP & ACPT Congress, Taiwan, 2013. 9.7
30. Harutoshi Sakakima, Kosei Ijiri, Fumiyo Matsuda, Kazunori Yone. Newly Developed Wearable Robot Facilitated Waking Rehabilitation for Patient with Spinal Surgery: A Case Study, ACRM Annual Conference, Orlando (USA), 2013. 11.15
31. Harutoshi Sakakima, Yoshihiro Yoshida, Fumiyo Matsuda, Kazunori Yone. Neurorepair and Functional Recovery by Motor Exercise in Rats After Ischemia Reperfusion, ACRM Annual Conference, Orlando (USA), 2013. 11.15
32. 上村明子 (鹿児島県理学療法士協会), 砂原伸彦 (鹿児島赤十字病院), 有島善也 (鹿児島赤十字病院), 榎間春利 (鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻), 人工股関節全置換術施行患者の骨盤傾斜角と運動機能との関係, 第40回日本股関節学会学術集会, 広島市, 2013.11.29
33. 平田敦志, 福留清博, 松下寿史, 川井田豊, 秦 一貴, 西 智洋, 米和徳, 福永陽平, バーチャルリアリティを応用した運動療法の試み - . 運動ビデオゲーム時の高齢者の脳血流量の変化 -, 日本デジタルゲーム学会2012年次大会, 2013.3 (福岡).
34. 秦 一貴, 福留 清博, 上嶋 明, 西 智洋, 川井田 豊, 平田 敦志, 前田 誠, 汎用ビデオゲームインターフェイスを利用したマーカレス・モーショントラッキングシステムの可能性, 第48回日本理学療法学術大会, 2013.5 (名古屋).
35. Nishi T, Fukudome K, Kiyama R, Yone K, Maeda T,Hata K, Kawaida Y, Hirata A, Assessment of Upper limb Function in Cervical Spondylotic Myelopathy Patients by Sine-wave Drawing Task., 12th International Congress of the Asian Confederation for Physical Therapy, 2013.9 (Taiwan).
36. Hirata A, Fukudome K, Hisashi M, Nishi T, Kawaida Y, Maeda M, Yone K, Fukunaga Y , The Effect of a Short Bout of Balance Exercise on Cognitive Functions in Community-Dwelling Older Adults, 12th International Congress of the Asian Confederation for Physical Therapy, 2013.9 (Taiwan).
37. Hata K, Fukudome K, Uejima A, Kiyama R, Nishi T, Kawaida Y, Hirata A, Development of Low-Cost, Markerless, Motion-Capture System with Application to Clinical Motion Analysis, 12th International Congress of the Asian Confederation for Physical Therapy,

業績目録

2013.9 (Taiwan).

38. 朝倉弘美, 吉元洋一, 後東尚樹, 北村敏乃: フラダンスは介護予防プログラムとして利用できるのか! 第48回日本理学療法学会大会, 名古屋市, 2013.5.24
39. 大重匡, 村山光史朗: ウォーミングアップ効果を持つ下腿浴, 第48回日本理学療法士学会大会 愛知県名古屋市 2013.5.24
40. 貴嶋芳文, 木山良二, 大重匡, 前田哲男, 湯地忠彦, 東祐二, 藤元登四郎, 関根正樹, 田村俊世: 加速度センサを用いた歩行評価 脳卒中片麻痺者における歩行自立度の要因分析, 第48回日本理学療法士学会大会 愛知県名古屋市 2013.5.25

D. その他

講演

1. 米 和徳: 運動器の疼痛とリハビリテーション, ヤンセンファーマ講演会, 鹿児島, 2013.2.7
2. 米 和徳: 運動器リハビリテーションとは, 運動器リハビリテーションセラピスト資格継続研修会, 鹿児島, 2013.3.10
3. 米 和徳: 運動器慢性疼痛の治療, 労災医療保険研修会, 鹿児島, 2013.3.28
4. 米 和徳: 高齢者の運動器障害, 市民公開講座「運動器障害に対する治療と高齢者介助法」, 鹿児島, 2013.8.31
5. 米 和徳: 交通事故による脊椎脊髄外傷の問題点, 三井住友海上講演会, 熊本, 2013.11.27
6. 榊間春利: 理学療法士のキャリアデザイン 第48回日本理学療法士協会全国学術研修大会 ワークショップ 「理学療法士の針路を問う」, 浜松市, 2013.10.4
7. 吉元洋一: 理学療法学, 平成25年度「大学出張講義」, 宮崎県立小林高等学校, 2013.6.22
8. 吉元洋一: 理学療法学, 平成25年度「大学出張講義」, 鹿児島県立錦江湾高等学校, 2013.7.2
9. 吉元洋一: 理学療法学, 平成25年度「大学出張講義」, 鹿児島県立松陽高等学校, 2013.7.4
10. 吉元洋一: 高齢者の自立支援・介護予防～廃用症候群の予防～, 鹿児島市保健所, 2013.7.17
11. 吉元洋一: 理学療法学, 平成25年度「大学出張講義」, 鹿児島県立指宿高等学校, 2013.7.25
12. 吉元洋一: 理学療法学, 平成24年度「大学出張講義」, 鹿児島県立鹿児島甲南高等学校2013.11.22
13. 内部障害に対する理学療法の進め方の基本 (沖縄), 大重匡, 日本理学療法士協会研修部主催理学療法士講習会, 沖縄県那覇市, 2013.2.10
14. 内部障害に対する理学療法の進め方の基本 (鹿児島), 大重匡, 日本理学療法士協会研修部主催理学療法士講習会, 鹿児島市, 2013.8.11
15. 高齢者の介護法, 大重 匡, 市民公開講座「脳卒中の介護方法」, 鹿児島市, 2013.8.31
16. 理学療法の研究方法論, 大重 匡, 公益社団法人鹿児島県理学療法士協会主催研修会, 鹿児島市, 2013.9.22
17. 内部障害に対する理学療法の進め方の基本 (東京), 大重 匡, 日本理学療法士協会研修部主催理学療法士講習会, 東京都大田区, 2013.11.10
18. 内部障害に対する理学療法の進め方の基本 (福岡), 大重 匡, 日本理学療法士協会研修部主催理学療法士講習会, 福岡県福岡市, 2013.12.8

業績目録

[作業療法学専攻]

A. 著書

1. 赤崎安昭：民事精神鑑定，「臨床医のための司法精神医学入門」，日本精神神経学会教育問題委員会司法精神医学作業部会編集，新興医学出版社，2013. p 78-120.
2. 岩瀬義昭：作業療法士の需要供給 - これまでとこれから - ，(杉原素子，古川 宏編集主幹「作業療法プロフェッショナル・ガイド」)，文光堂，東京，2013. p40-46.
3. 築瀬 誠：「論文投稿は難しいこと？」(杉原素子，古川 宏編集主幹「作業療法プロフェッショナル・ガイド」)，文光堂，東京，2013. p 542-548
4. 築瀬 誠：「機関誌，ジャーナルの論文の読み方」(杉原素子，古川 宏編集主幹「作業療法プロフェッショナル・ガイド」)，文光堂，東京，2013. p 549-555

B. 論文

1. 赤崎安昭，神崎美穂*，濱本美帆*，内村準一郎*，大重勝子*，下島圭三*，森園正樹*，森岡洋史** (*三州脇田丘病院，**鹿児島大学保健管理センター)：回想法と心理劇のコラボレーション「アクティブ回想法」，精神看護2013;16(5):46-52.
2. 有川瑛人*，倉澤寛明*，原口友子*，日吉俊紀*，山下正策*，窪田正大，浜田博文** (*加治木温泉病院，**鹿児島大学名誉教授)：深層失語一例における発話の誤反応分析 - 障害特性に関する検討．鹿児島高次脳機能研究会会誌2013;24(1)：4-9.
3. 楠本 朗*，赤崎安昭，赤崎安隆**，井料 学***，福迫 剛****，宇田英典*****，富永秀文*****，川元孝久*****，西俣寿人*****，佐野 輝*(*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野，**鹿児島県医師会精神保健委員会，***鹿児島県神経科精神科診療協会，****鹿児島県精神科病院協会，*****鹿児島県保健所長会，*****鹿児島県精神保健福祉センター，*****公益財団法人鹿児島産業保健推進センター，*****財団法人鹿児島県民保健センター)：メンタルヘルス健診の問題点について - 鹿児島県における労働者のメンタルヘルスの取り組みを通して - ，臨床精神医学2013;42(10):1193-1199.
4. 楠本 朗*，赤崎安昭，児玉 圭**，吉田 巖*，森岡洋史***，佐野 輝*(*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野，**蒼風会児玉病院，***鹿児島大学保健管理センター)：職場不適応事例に対する治療のアプローチ，臨床精神医学2013;42(10):1231-1237.
5. 窪田正大，岩瀬義昭，吉満孝二，中島由里子：半側視空間無視を伴った脳血管障害患者の認知リハビリテーション - Computer-assisted Attention Trainingの試み - ．鹿児島大学医学部保健学科紀要2013;23(1)：25-31.
6. 築瀬 誠，柳田信彦，井上和博 (鹿児島大学医学部臨床作業療法学講座)：精神障害作業療法における対象者理解のための多変数関数モデル，作業療法鹿児島2013；19・20：5-10.

C. 学会発表

1. 赤崎安昭，楠本 朗*，春日井基文*，倉野 裕*，高取由紀子*，小城くみこ*，森岡洋史**，佐野 輝*(*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野，**鹿児島大学保健管理センター)：自殺防止に対する司法精神医学からのメッセージ (第4報) - 拡大自殺の「頓挫型」の症例を通して - ．第52回日本心身医学会九州地方会．福岡市，2013.2.
2. 赤崎安昭，楠本 朗*，春日井基文*，倉野 裕*，高取由紀子*，森岡洋史**，佐野 輝*(*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野，**鹿児島大学保健管理センター)：自殺防止に対する司法精神医学からのメッセージ - 司法精神鑑定を実施した4症例を通して - ．第32回日本社会精神医学会．熊本市，2013.3.
3. 赤崎安昭：シンポジウム「裁判員制度と精神鑑定」，広汎性発達障害の事例について．第109回日本精神神経学会学術総会．福岡市．2013.5.
4. 赤崎安昭，森岡洋史*，楠本 朗**，高取由紀子**，春日井基文**，上村佳代***，小山徹平***，倉野 裕**，山畑良蔵****，上山健一****，佐野 輝**(*鹿児島大学保健管理センター，**鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野，***鹿児島大学病院臨床心理室，****鹿児島県立始良病院)：複数人を殺害した統合失調症者に関する考察 (第2報) - 妄想対象ではない人物を殺害した行為の責任能力．第9回日本司法精神医学会.東京都.2013.5.
5. 赤崎安昭，森岡洋史*，小城くみこ**，倉野 裕**(*鹿児島大学保健管理センター，**鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野)：自殺防止に対する司法精神医学からのメッセージ (第6報) - 触法行為に至った5症例の検討．第54回日本心身医学会総会ならびに学術総会．横浜市.2013.6.

業績目録

6. 有川瑛人*, 倉澤寛明*, 原口友子*, 日吉俊紀*, 山下正策*, 窪田正大, 浜田博文** (*加治木温泉病院, **鹿児島大学名誉教授): 深層失語一例における発話の誤反応分析 - 障害特性に関する検討. 第30回鹿児島高次脳機能研究会. 鹿児島市, 2013.4.26.
7. 池田俊昭*, 宮園輝美*, 白元勇次郎*, 下村珠美*, 平一輪*, 野沢尚来*, 窪田正大, 竹内明禪*, 五十峯淳一*, 八反丸健二*: (*八反丸病院) 若年者における大腰筋トレーニングが筋断面積と腰椎前湾に及ぼす影響 - MRIとX線画像での効果判定を用いて -. 第48回日本理学療法学会. 名古屋市, 2013.5.26.
8. 池村知江*, 池畑飛鳥*, 八反丸健二*, 窪田正大 (*八反丸病院): 回復期リハビリテーション病棟ケア10項目宣言の充実に向けた取り組み. 回復期リハビリテーション病棟協会第21回研究大会in金沢. 金沢市, 2013.3.1.
9. 井上恵*, 立山聖子*, 八反丸健二*, 窪田正大, (*八反丸病院): プライマリーナーシングにおける回復期病棟看護師の取り組み. 第25回日本リハビリテーション看護学会学術総会. 千葉市, 2013.10.26.
10. 岡元仁美, 柳田信彦, 井上和博, 築瀬 誠: 訪問による支援に対する精神障害者の家族のニーズ. 第24回鹿児島県作業療法学会. 鹿児島市, 2013.3.
11. 岡元仁美, 築瀬 誠, 柳田信彦, 井上和博: 精神障害者家族が訪問による支援に求めるもの. 第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会. 熊本市, 2013.11.
12. 春日井基文*, 福田恭哉*, 竹之内 薫**, 山畑良蔵**, 上山健一**, 赤崎安昭, 佐野 輝* (*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野, **鹿児島県立始良病院): 総合病院精神科における医療観察法入院処遇対象者の身体合併症の対応と問題点. 第66回九州精神神経学会. 鹿児島市.2013.11.
13. 楠本 朗*, 赤崎安昭, 小田原 努*, 橋口良紘*, 川元孝久*, 佐野 輝* (*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野): 鹿児島県における産業メンタルヘルスの連携について. 第86回日本産業衛生学会. 松山市.2013.5.
14. 小城くみこ*, 倉野 裕*, 赤崎安昭, 森岡洋史** (*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野, **鹿児島大学保健管理センター): 緊張病症状を呈する病態の多様性 - 気分障害と強迫性障害を中心に. 第54回日本心身医学会総会ならびに学術総会. 横浜市.2013.6.
15. 小城くみこ*, 肝付 洋*, 楠本 朗*, 森岡洋史**, 赤崎安昭, 佐野 輝* (*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野, **鹿児島大学保健管理センター): 思春期発症の強迫症者に関する考察 - 精神療法における治療者との関係性も含めて. 第51回日本心身医学会九州地方会. 福岡市, 2013.2.
16. 小城くみこ*, 赤崎安昭, 楠本 朗*, 堀切 靖**, 森岡洋史*** (*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野, **鹿児島県立始良病院, ***鹿児島大学保健管理センター): 「強迫性緩慢」に関する精神病理学的考察 - 自閉症スペクトラム障害と寡症状性統合失調症. 第36回日本精神病理・精神療法学会. 京都市.2013.10.
17. 佐保郁恵*, 中村裕樹*, 八反丸健二*, 窪田正大 (*八反丸病院): 入院時FIM得点差異の経時的変化について. リハビリテーション・ケア合同研究大会 千葉2013. 千葉市, 2013.11.23.
18. 末廣昌平*, 柳田信彦 (*鹿児島県立始良病院): 電子カルテとリハ支援システムを始良病院 (単科精神科) に導入しての報告. 第24回鹿児島県作業療法学会, 鹿児島, 2013.3.
19. 瀬戸山弘貴*, 窪田正大, 竹内明禪*, 五十峯淳一*, 八反丸健二* (*八反丸病院): 骨折受傷前の転倒リスクと住環境リスクとの関連性. 第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会. 熊本市, 2013.11.24.
20. 高取由紀子*, 赤崎安昭, 楠本 朗*, 春日井基文*, 佐野 輝* (*鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野): 司法精神鑑定から得られるもの - 大学病院後期研修医の立場から. 第9回日本司法精神医学会. 東京都.2013.5.
21. 富永真実*, 本武大典*, 柳田信彦 (*社団法人 鹿児島精神衛生協会 横山病院): 精神科入院患者の服薬自己管理の強化への取り組み~心理教育がもたらす影響~, 第16回心理教育・家族教室ネットワーク研究集会 (岡山大会), 岡山, 2013.2.
22. 俵積田和美*, 中村裕樹*, 久保はるみ*, 八反丸健二*, 窪田正大, (*八反丸病院): コミュニティーボードの有効な活用について. リハビリテーション・ケア合同研究大会 千葉2013. 千葉市, 2013.11.23.
23. 中川穰佑, 築瀬 誠, 斉藤美季: 精神療養病棟入院患者とデイケア利用者の主観的健康統制感について. 第47回日本作業療法学会, 2013年6月 (大阪市).
24. 中間賢二*, 窪田正大, 竹内明禪*, 五十峯淳一*, 八反丸健二* (*八反丸病院): 回復期病棟における疾患別の退院後ADL変化. 第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会. 熊本市, 2013.11.24.
25. 中村裕樹*, 八反丸健二*, 窪田正大, (*八反丸病院): 日常生活動作評価におけるチームアプローチについて-FIM導入前後によるアンケート結果より-. 第21回日本慢性期医療学会&第3回アジア慢性期医療学会. 東京都, 2013.11.15.
26. 中村裕樹*, 八反丸健二*, 窪田正大 (*八反丸病院): 職種間におけるFIMの差異について. リハビリテーション・ケア

業績目録

- 合同研究大会 千葉2013. 千葉市, 2013.11.23.
27. 永留篤男*, 五十峯淳一*, 竹内明禅*, 竹内直人*, 八反丸健二*, 窪田正大, 上原美穂** (*八反丸病院, **鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 腰痛と睡眠および職業性ストレスとの関連性について-当院職員へのアンケート結果から-. 第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会. 熊本市, 2013.11.23.
 28. 能登真一*, 村井千賀**, 竹内さをり***, 岩瀬義昭, 中村春基**** (*新潟医療福祉大学, **石川県立高松病院, ***甲南女子大学, ****兵庫県立総合リハビリテーションセンター): 通所リハにおける「意味のある作業」の費用対効果, 第47回日本作業療法学会, 大阪市, 2013.6.
 29. 野間和一*, 松元秀次**, 岩瀬義昭, 下堂園恵**, 川平和美**, (*鹿児島大学病院霧島リハビリテーションセンター, **鹿児島大学大学院医歯学総合研究科): 脳卒中片麻痺上肢への神経筋電気刺激の有効性の検討, 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第21回研究大会, 金沢市, 2013.3.
 30. 濱本美帆*, 竹田尚登*, 井手ノ上範樹*, 下島圭三*, 赤崎安昭, 森園正樹*(*三州脇田丘病院): リワークプログラムへの取り組み. 第59回九州精神医療学会. 鹿児島市.2013.11.
 31. 早田善幸*, 池田俊昭*, 窪田正大, 竹内明禅*, 五十峯淳一*, 八反丸健二* (*八反丸病院): 皮膚冷刺激トレーニングの効果について - 立ち座り動作における効果判定 -. 第26回鹿児島県理学療法士学会. 鹿屋市, 2013.2.3.
 32. 本松逸平*, 中村裕樹*, 池村知江*, 久保はるみ*, 石原千聖*, 窪田正大, 八反丸健二* (*八反丸病院): 認知症高齢者へのチームアプローチ - 回想法・RO法を用いた集団療法の試み -. 第14回日本認知症ケア学会大会. 福岡市, 2013.6.1.
 33. 本松逸平*, 中村裕樹*, 八反丸健二*, 窪田正大, (*八反丸病院): 認知症ケアへの取り組みと活動. 第21回日本慢性期医療学会&第3回アジア慢性期医療学会. 東京都, 2013.11.14.
 34. 安本勝博*, 清水順一*, 岩瀬義昭, 大丸幸*, 川村謙吉* (*日本作業療法士協会・地域保健総合推進事業研究班): 地域保健への作業療法士の関わり - 医療と地域ケア連携促進要素の検討 -, 第47回日本作業療法学会, 大阪市, 2013.6.
 35. 柳田信彦, 本武大典*, 福山彩子*, 中山優紀*, 富永真実*, 吉良政美* (*社団法人 鹿児島精神衛生協会 横山病院): 長期入院中の統合失調症患者に心理教育が及ぼす影響~服薬自己管理プログラムを併用して~, 第16回心理教育・家族教室ネットワーク研究集会 (岡山大会), 岡山市, 2013.2.
 36. 築瀬 誠, 平野順一, 前野智枝, 児玉 圭, 児玉祐一: 「日常生活の制限 - 6 要因モデル」に基づく精神障害作業療法プログラムの分析の試み. 第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会. 熊本市, 2013.11月.
 37. 吉井洋之*, 藤田和幸*, 内立元ともみ*, 永川恵子*, 南 良子*, 中山龍次郎**, 石塚貴周**, 赤崎安昭(*鹿児島大学病院看護部, **鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野): 認知症高齢者のBehavioral and psychological symptoms of dementia(BPSD)に対する取り組み - レビー小体型認知症患者の看護経験を通して -. 第59回九州精神医療学会.鹿児島市. 2013.11.
 38. 吉満孝二, 岩瀬義昭, 窪田正大, 中島由里子: 郡部における独居高齢者のADLに関する調査 第1報 介護保険未認定者の生活実態. 第24回鹿児島県作業療法学会, 鹿児島市, 2013.3.3.
 39. 吉満孝二, 岩瀬義昭, 窪田正大, 中島由里子: 独居高齢者のADLに関する研究, 第47回日本作業療法学会, 大阪市, 2013.6.29.

D. その他

1) 論文・報告書

1. 築瀬 誠, 岡元仁美, 柳田信彦, 井上和博: NPO法人かれん鹿児島 調査報告書 No.4 「訪問による支援に対するニーズ」, NPO法人かれん鹿児島, 2013.5

2) 講演, 他

1. 赤崎安昭: メンタルヘルス不調の労働者の事例検討, 第49回鹿児島労働衛生研究会, 鹿児島市, 2013.1.17.
2. 赤崎安昭: カリキュラム目標設定・方略の作成, 平成24年度精神科七者懇 西日本地区「臨床研修指導医研修会」, 広島市, 2012.2.9.10.
3. 赤崎安昭: 私にとって司法精神鑑定とは?, 第19回鹿児島精神病理・精神療法研究会, 鹿児島市, 2013.6.11.
4. 赤崎安昭: 複数名を殺害した拡大自殺の事例, 第4回鹿児島司法精神鑑定人研究会, 鹿児島市, 2013.9.24.
5. 赤崎安昭: 自分の「心の癖」に気付いていますか?, 鹿児島市教育委員会家庭教育学級, 鹿児島市, 2013.11.15.
6. 赤崎安昭: 精神障害の診断のあり方 - DSM-5の病名・用語 (案) も含めて -, 鹿児島地方裁判所刑事鑑定研究会, 鹿児島市,

業績目録

- 2013.11.29.
7. 井上和博：子どもの発達を促すために～感覚統合の視点から～，児童発達支援事業わかば園講演会，鹿児島市，2013.2.23
 8. 井上和博：子どもの行動を理解するために～作業療法士の視点から～，鹿児島市社会事業協会研修会，鹿児島市，2013.5.16
 9. 井上和博：子どもの気になる行動や動作の理解，ゆのもと・ことばの教室第6回保護者会，日置市，2013.6.23
 10. 井上和博：子どもの遊びについて～作業療法士の視点から～，鹿児島県作業療法士会発達支援チーム研修会，鹿児島市，2012.8.18
 11. 井上和博：手の機能について～作業療法士の視点から～，鹿児島県立桜丘養護学校研修会，鹿児島市，2013.8.22
 12. 井上和博：園児の観察および考察，幼児教育相談事業，鹿児島市，2013.8.30
 13. 井上和博：子どもの気になる行動・動作～作業療法士の視点から～，子どもの家療育クラブ子育て研修会，日置市，2013.9.4
 14. 井上和博：子どもの気になる行動・動作～作業療法士の視点から～，児童発達支援事業おひさま研修会，鹿児島市，2013.9.6
 15. 井上和博：発達障害児のリハビリテーション，リハビリテーションフェスティバル鹿児島，鹿児島市，2013.10.5
 16. 井上和博：子どもの気になる行動・動作～作業療法士の視点から～，児童発達支援事業SUN講演会，鹿児島市，2013.10.30
 17. 井上和博：子どもの気になる行動・動作～作業療法士の視点から～，児童発達支援事業なかよし園親の会講演，鹿児島市，2013.11.8
 18. 井上和博：気になる子どもの理解と対応～作業療法士の視点から～，ひおき地区保育連合会 主任保育士研修会，日置市，2013.11.15
 19. 井上和博：生活動作について，鹿児島県作業療法士会発達支援チーム研修会，鹿児島市，2013.12.8
 20. 岩瀬義昭：講演，作業の力と生活行為向上，第16回大分県作業療法学会，(社)大分県作業療法士会，大分市，2013.2.
 21. 岩瀬義昭：ナイトセミナー，日本作業行動学会第22回学術総会，当大学大学院保健学研究科基礎作業療法学講座の受入方針，日本作業行動学会，岡山市，2013.9.
 22. 池田由里子：デンマーク派遣報告会．デンマークの福祉を考える会定例会，鹿児島，2013.11.12.
 23. 窪田正大：「日々の臨床から研究をはじめよう - 研究テーマの決定から研究計画書作成まで -」．平成25年度鹿児島県作業療法士会学術部研修会．鹿児島市，2013.6.9.
 24. 築瀬 誠：家族が訪問による支援に求めるもの - 平成24年度調査より - ．平成25年度NPO法人かれん鹿児島総会，鹿児島市，2013.5.26.
 25. 築瀬 誠：精神障害作業療法実践的統合モデル「日常生活の制限-6 要因モデル」の紹介．平成25年度太宰府病院作業療法勉強会，太宰府市，2013.7.19.
 26. 築瀬 誠：作業療法学．鹿児島中央高等学校平成25年度学部研究会，鹿児島市，2013.8.1.
 27. 築瀬 誠：研究発表までの口セス～研究デザインを知る～．平成25年度鹿児島県作業療法士会学術部研究支援事業研究方法研修会，鹿児島市，2013.8.25.
 28. 築瀬 誠：精神障害作業療法の考え方とその進め方．平成25年度鹿児島県作業療法士会大隅支部公開講座，鹿屋市，2013.9.29.
 29. 築瀬 誠：精神障害作業療法の実践を説明するモデルを考える．平成25年度宮崎県精神科作業療法研究会，2013.11.2.
 30. 築瀬 誠：精神障害作業療法の基礎知識 - 作業療法をどのように説明するか - ．鹿児島市，2013.11.10.
 31. 築瀬 誠：作業療法の考え方と役割．平成25年度 若竹会・工房たけん子研修会，さつま町，2013.12.14.
 32. 吉満孝二：エビデンスと作業療法．鹿児島県作業療法士会現職者共通研修，鹿児島市，2013.2.
 33. 吉満孝二：感覚と認知．社会福祉法人常磐会研修会，鹿児島市，2013.6.
 34. 吉満孝二：実践のための作業療法研究，鹿児島県作業療法士会現職者共通研修，鹿児島市，2013.9.
 35. 吉満孝二：生涯教育システムの改正と協会の事例報告登録～手順と実際．鹿児島県作業療法士会研修会，鹿児島市，2013.10.
 36. 吉満孝二：視覚認知の障害，社会福祉法人常磐会研修会，鹿児島市，2013.12.